

HP TouchSmart ユーザー ガイド

© Copyright 2010 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。SD ロゴは、その所有者の商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2010年1月

製品番号：582064-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターで対応していない場合もあります。

安全に関するご注意

-
- △ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 機能

搭載されているハードウェアおよびソフトウェアの確認	2
ハードウェアの確認	2
ソフトウェアの確認	2
各部の名称	3
表面の各部	3
タッチパッド	3
ランプ	4
キー	5
前面の各部	5
右側面の各部	6
左側面の各部	8
ディスプレイの各部	9
背面の各部	10
裏面の各部	10

2 ネットワーク

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の選択	13
[Internet Services & Offers]の使用	13
ISP 提供のアイコンの使用	13
Windows のインターネットへの接続ウィザードの使用	14
無線接続の作成	15
無線アイコンと無線コントロールの確認	15
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認	15
無線キーと無線ボタンの使用	16
[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用	16
オペレーティング システムの制御機能の使用	17
無線 LAN への接続	17
既存の無線ネットワークへの接続	18
無線ネットワークのセットアップ	18
手順 1：高速インターネット サービスを購入する	19
手順 2：無線ルーターを購入して取り付ける	19
手順 3：コンピューターを無線ネットワークに接続するように設定する	19

無線 LAN の保護	20
他のネットワークへのローミング	21
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	21
SIM の装着	21
SIM の取り出し	22
Bluetooth 無線デバイスの使用	23
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）	23
有線ネットワークへの接続	25

3 ポインティング デバイス、タッチ スクリーン、およびキーボード

ポインティング デバイスの使用	27
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	27
タッチパッドの使用	27
タッチパッドをオンまたはオフにする	27
タッチパッド ジェスチャの使用	28
スクロール	28
ピンチ/ズーム	29
回転	29
デジタイザー ペンの使用	31
ペンの各部の名称	31
ペンの持ち方	31
ペンの保管	31
タッチ スクリーンの使用	32
ディスプレイの回転	32
回転ボタンの使用	33
タッチ スクリーン ジェスチャの使用	33
タップ（またはクリック）	33
フリック	34
ドラッグ	34
スクロール	34
回転	35
ピンチ	35
タッチ スクリーンの設定	36
操作キーの使用	37
ホットキーの使用	39

4 マルチメディア

マルチメディア機能	41
メディア操作キーの使用	42
マルチメディア ソフトウェア	43
[HP TouchSmart]ソフトウェアまたは[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用	43
マルチメディア ソフトウェアの使用	43
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	44

オーディオ	45
音量の調整	45
外付けオーディオ デバイスの接続	45
Web カメラ	47
Web カメラのプロパティの調整	48
動画	49
外付けモニター コネクタの使用	49
HDMI デバイスの接続	49
HDMI 用のオーディオの設定	50

5 電源の管理

コンピューターのシャットダウン	52
電源デバイスの設定	53
省電力設定の使用	53
スリープの開始および終了	53
ハイバネーションの開始および終了	53
節電	54
バッテリー メーターの使用	54
電源プランの使用	55
現在の電源プランの表示	55
異なる電源プランの選択	55
電源プランのカスタマイズ	55
復帰時のパスワード保護の設定	55
バッテリー電源の使用	57
[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認	57
[HP バッテリー チェック]の使用	57
バッテリー充電残量の表示	58
バッテリーの着脱	58
バッテリーの充電	59
バッテリーの放電時間の最長化	60
ロー バッテリー状態への対処	60
ロー バッテリー状態の確認	60
ロー バッテリー状態の解決	60
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	61
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	61
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決	61
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決	61
バッテリー ゲージの調整	61
バッテリーの保管	61
使用済みのバッテリーの処理	62
バッテリーの交換	62

グラフィックス モードの切り替え（一部のモデルのみ）	63
外部電源の使用	64
外部電源の接続	64
AC アダプターのテスト	65

6 外付けデバイス

メディア カードの使用	67
メディア カードの挿入	67
メディア カードの取り出し	68
USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用	69
USB デバイスの接続	69
USB デバイスの取り外し	69

7 ドライブ

ドライブの取り扱い	72
ハードドライブ パフォーマンスの向上	73
ディスク デフラグの使用	73
ディスク クリーンアップの使用	73
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用	74
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認	74
停止されたハードドライブでの電源管理	74
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用	75
ハードドライブの交換	76
外付けドライブの使用	80
別売の外付けドライブの接続	80
外付けオプティカル ドライブの使用（一部のモデルのみ）	80
ディスク トレイが開かない場合のオプティカル ディスクの取り出し	81
オプティカル ドライブの共有	82

8 メモリ モジュール

メモリ モジュールの追加または交換	84
-------------------------	----

9 セキュリティ

コンピューターの保護	88
パスワードの使用	89
Windows でのパスワードの設定	89
セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定	90
管理者パスワード	90
管理者パスワードの管理	91
管理者パスワードの入力	91
電源投入時パスワード	91
電源投入時パスワードの管理	92
電源投入時パスワードの入力	92

ウイルス対策ソフトウェアの使用	93
ファイアウォール ソフトウェアの使用	94
緊急セキュリティ アップデートのインストール	95
別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続	96
指紋認証システムの使用（一部のモデルのみ）	97
指紋の登録	97
登録された指紋を使用した Windows へのログオン	98

10 バックアップおよび復元

リカバリ ディスクの作成	100
情報のバックアップ	101
Windows の[バックアップと復元]の使用	101
システムの復元ポイントの使用	102
復元ポイントを作成するとき	102
システムの復元ポイントの作成	102
以前のある日時の状態への復元	102
復元の実行	104
リカバリ ディスクからの復元	104
専用の復元用パーティションからの復元（一部のモデルのみ）	104

11 セットアップユーティリティ (BIOS)

セットアップユーティリティの開始	107
セットアップユーティリティの使用	108
セットアップユーティリティの言語の変更	108
セットアップユーティリティでの移動および選択	108
システム情報の表示	109
セットアップユーティリティでの初期設定の復元	109
セットアップユーティリティの終了	110
セットアップユーティリティのメニュー	111
[Main] (メイン) メニュー	111
[Security] (セキュリティ) メニュー	111
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	111
[Diagnosics] (診断) メニュー	112
BIOS の更新	113
BIOS のバージョンの確認	113
BIOS アップデートのダウンロード	113

付録 A 製品情報

入力電源	116
動作環境	117
コンピューターの持ち運び	118
コンピューターの手入れ	119
ディスプレイの清掃	119

タッチパッドとキーボードの清掃	119
ラベル	120
索引	121

1 機能


搭載されているハードウェアおよびソフトウェアの確認

ハードウェアの確認

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

 **注記：** Windows®には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

ソフトウェアの確認

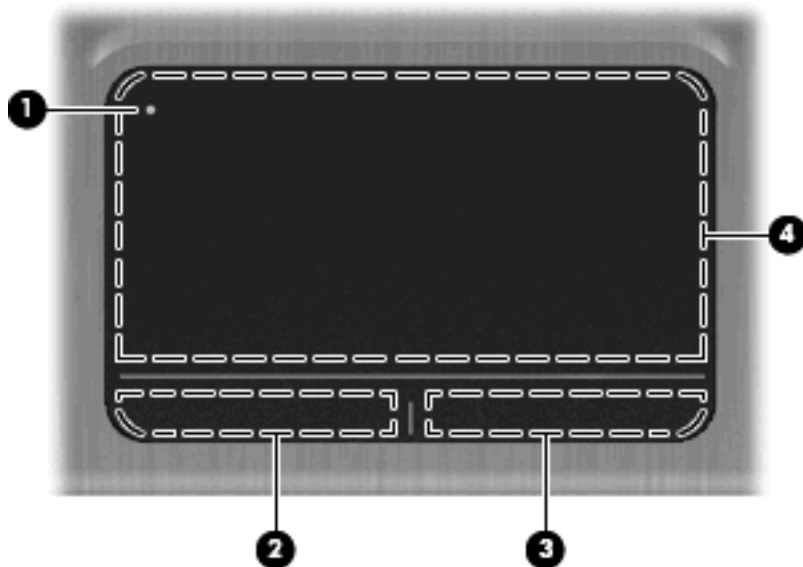
コンピューターにインストールされているソフトウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。

各部の名称

表面の各部

タッチパッド



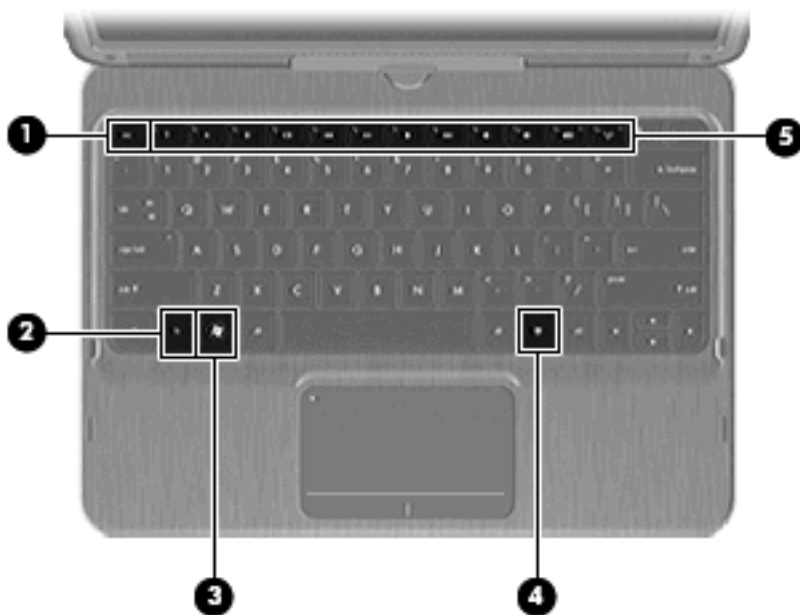
名称	説明
(1) ● タッチパッド オフ インジケータ	タッチパッド ゾーン のオン と オフ を切り替えるには、タッチパッド オフ インジケータ をすばやくダブルタップします 注記： タッチパッド ゾーン がアクティブ になっている場合は、ランプ が消灯 します
(2) 左のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3) 右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッド	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします

ランプ



名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	白色 : Caps Lock がオンになっています
(2)  ミュート (消音) ランプ	オレンジ色 : コンピューターの音が消えている状態です
(3)  無線ランプ	<ul style="list-style-type: none">白色 : 無線 LAN デバイスや Bluetooth デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています注記 : 無線デバイスは、出荷時の設定で有効になっていますオレンジ色 : すべての無線デバイスがオフになっています
(4)  タッチパッドオフインジケータ	<ul style="list-style-type: none">オレンジ色 : タッチパッドがオフになっています消灯 : タッチパッドがオンになっています

キー



名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	矢印キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)  Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)  Windows アプリケーション キー	カーソルを置いた項目のショートカットメニューを表示します
(5) 操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します

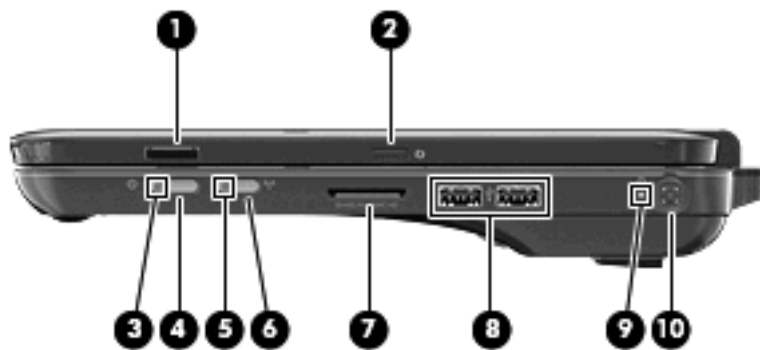
前面の各部








名称	説明
(1) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します

名称	説明
	<p>注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です</p>
(2) 外付け無線 WAN アンテナ	<p>無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）を介して無線信号を送受信します</p> <p>注記： 転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます</p>

右側面の各部






名称	説明
(1) 指紋認証システム（一部のモデルのみ）	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows にログインできます
(2)  回転ボタン	<p>表示画面を反時計回りに、横（プライマリ）、縦（プライマリ）、横（セカンダリ）、縦（セカンダリ）の順に切り替えます</p> <p>注記： 無線 WAN 機能を搭載したコンピューターは、横（プライマリ）および縦（セカンダリ）の方向のみをサポートしています</p>
(3)  電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています ● 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています ● 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(4) 電源スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターの電源が切れているときにスライドさせると、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときに短くスライドさせると、スリープが終了します

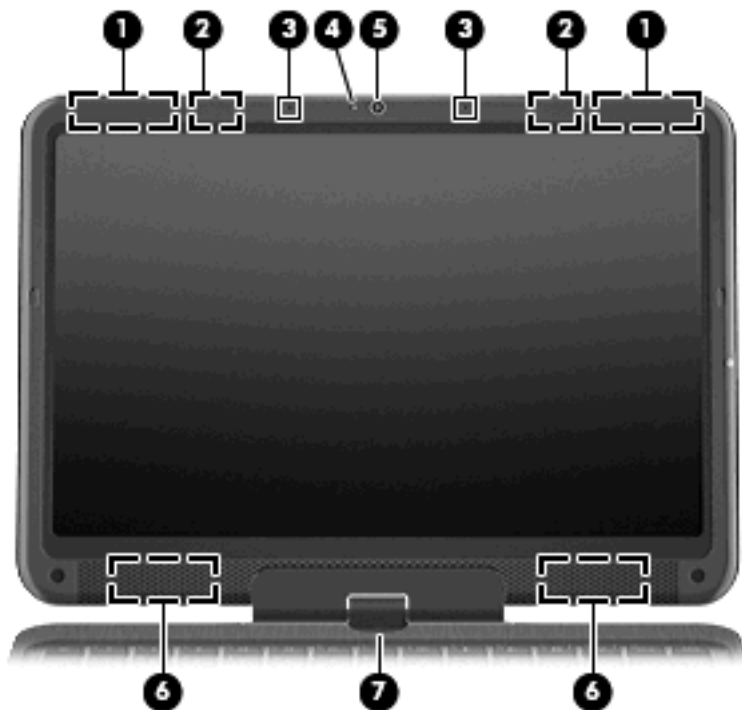
名称	説明
(5)  無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターがスリープ状態のときに短くスライドさせると、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときに短くスライドさせると、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源スイッチをスライドさせて 5 秒程度そのままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します</p>
(6) 無線ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● 白色：無線 LAN デバイスや Bluetooth デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています <p>注記： 無線デバイスは、出荷時の設定で有効になっています</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています <p>無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません</p> <p>注記： 無線接続を確立するには、無線ネットワークがすでにセットアップされている必要があります</p>
(7) メディア スロット	<p>以下のフォーマットのメディア カードに対応しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● マルチメディア カード ● SD (Secure Digital) メモリーカード ● xD ピクチャーカード
(8)  USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します
(9)  バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 消灯：お使いのコンピューターはバッテリー電源で動作しています ● オレンジ色で点滅：バッテリーがロー バッテリー状態と完全なロー バッテリー状態のどちらかになっているか、またはバッテリー エラーが発生しています ● オレンジ色に点灯：バッテリーが充電中です ● 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーの充電は完了しています
(10) 電源コネクタ	AC アダプターを接続します

左側面の各部



名称	説明
(1) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(2) HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します
(3)  USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(4)  オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤホン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセットマイクも接続します 注記： コネクタに別売のデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(5)  ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none">白色で点滅：ハードドライブにアクセスしていますオレンジ色：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってハードドライブが一時停止しています
(6) ペンのケーブル穴	ペン ケーブルを接続します
(7) ペン ホルダー	デジタイザー ペンを格納します

ディスプレイの各部






名称	説明
(1) 無線 WAN アンテナ (×2) * (一部のモデルのみ)	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 LAN アンテナ (×2) *	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します
(3) 内蔵マイク (×2)	サウンドを録音します
(4) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(5) Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(6) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(7) 回転ヒンジ	ディスプレイを回転させ、コンピューターを通常のノートブックモードからタブレットスタイルに、またはタブレットスタイルからノートブックモードに切り替えます。タブレットスタイルでは、ディスプレイが回転して平らに折りたたむため、コンピューターを持ち運びながら表示内容を見ることができます

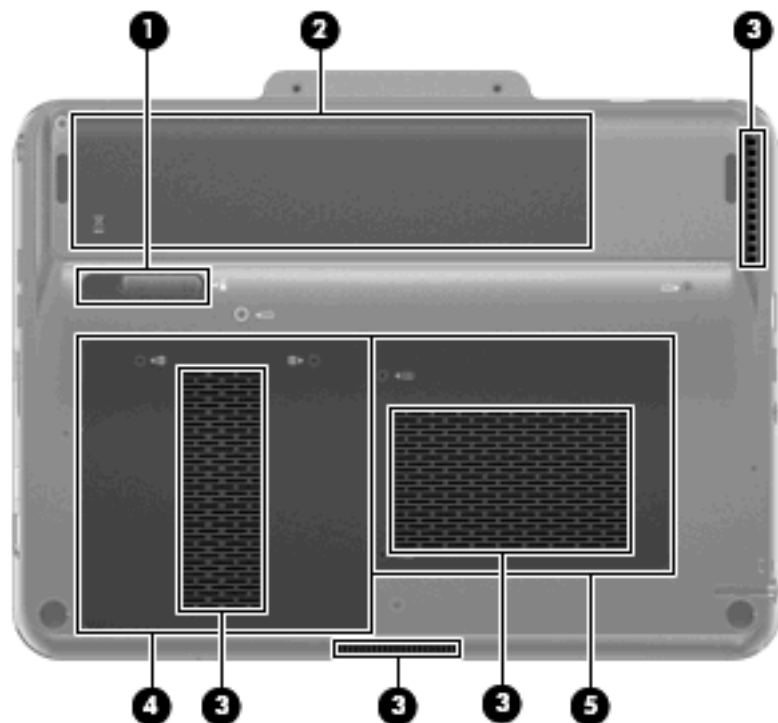
*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます


背面の各部





名称		説明
(1)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット 別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(2)		外付けモニター コネクタ 外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(3)		RJ-45 (ネットワーク) コネクタ ネットワーク ケーブルを接続します

裏面の各部



名称		説明
(1)		バッテリー リリース ラッチ バッテリー ベイからバッテリーを取り外します

名称	説明
(2) バッテリー ベイ	<p>バッテリーが装着されています</p> <p>注記： バッテリーは、工場出荷時にバッテリー ベイにあらかじめ装着されています</p>
(3) 通気孔 (×4)	<p>コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です</p>
(4)  ハードドライブ ベイ	ハードドライブが装着されています
(5)  メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュール スロットがあります

2 ネットワーク

お使いのコンピューターは、以下の2種類のインターネットアクセスに対応しています。

- 無線：モバイルインターネット接続には、無線接続を使用できます。既存のネットワークにコンピューターを追加したり無線ネットワークをセットアップしたりする方法については、[15 ページの「無線接続の作成」](#)を参照してください。
- 有線：RJ-45（ネットワーク）コネクタを使用してブロードバンドネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。RJ-45 コネクタを使用した接続については、[25 ページの「有線ネットワークへの接続」](#)を参照してください。

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の選択

インターネットに接続する前に、インターネット サービスをセットアップする必要があります。コンピューターの以下のソフトウェアで、新しいインターネットのアカウントを作成するか、コンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定できます。

- Internet Services & Offers (一部の地域でのみ利用可能)
- ISP 提供のアイコン (一部の地域でのみ利用可能)
- Windows のインターネットへの接続ウィザード (すべての地域で利用可能)

[Internet Services & Offers]の使用

コンピューターを購入した国または地域で[Internet Services & Offers]ユーティリティがサポートされている場合は、以下の方法を使用してこのユーティリティにアクセスできます。

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]→[オンライン サービス]→[Get Online] (オンライン接続) の順に選択します。

[Internet Services & Offers]ユーティリティでは、以下の作業を実行できます。

- 新しいインターネット アカウントのサインアップ
- 既存のアカウントを使用するためのコンピューターの設定

ISP 提供のアイコンの使用

コンピューターを購入した国または地域で ISP 提供のアイコンがサポートされている場合、そのアイコンは、Windows デスクトップに個別に表示されるか、「オンライン サービス」という名前のデスクトップ上のフォルダーに格納されています。


- ▲ 新しいインターネット アカウントをセットアップする、またはコンピューターで既存のアカウントを使用するよう設定するには、アイコンをダブルクリックして、画面の説明に沿って操作します。

Windows のインターネットへの接続ウィザードの使用

以下の場合、Windows のインターネットへの接続ウィザードを使用してインターネットに接続できます。

- すでに ISP のアカウントを持っている場合
- ISP 提供のディスクがある場合
- インターネット アカウントを持っていないが、ウィザード内の一覧から ISP を選択する場合（ISP の一覧は地域によっては表示されない場合があります）
- 一覧にない ISP を選択し、その ISP から特定の IP アドレス、POP3、SMTP 設定などの情報が提供された場合

Windows のインターネットへの接続ウィザードおよびウィザードの使用手順にアクセスするには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

 **注記：** ウィザード内で Windows ファイアウォールの有効/無効を選択する画面が表示された場合は、ファイアウォールを有効にします。

無線接続の作成







無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距离になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンと無線コントロールの確認

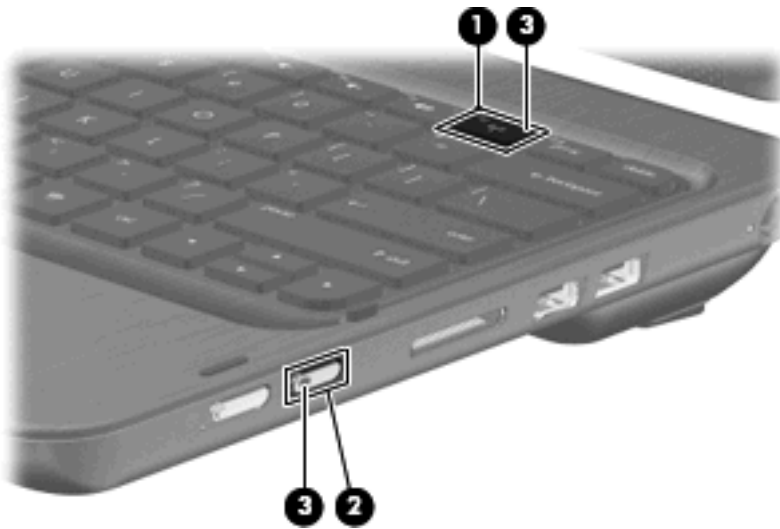
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプ、無線キー、および無線ボタンの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また1つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します
	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	HP Connection Manager	[HP Connection Manager]を開きます。[HP Connection Manager]では、HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用した接続を作成できます（一部モデルのみ）
	ネットワーク ステータス	ネットワーク接続の状態（有線および無線の両方）を示します
		アイコンの上にマウス ポインターを置くと、より詳しい情報が表示されます
		



無線キーと無線ボタンの使用

コンピュータには、無線キー (1)、無線ボタン (2)、2つの無線ランプ (3)、および1つ以上の無線デバイスがあります。お使いのコンピュータでは、すべての無線デバイスが工場出荷時に有効になっています。




無線ランプがオレンジ色の場合は、すべての無線デバイスがオフになっていることを示しています。無線ランプが白色の場合は、無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) デバイスや Bluetooth デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線デバイスをオンまたはオフにするには、無線キーまたは無線ボタンを押します。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線キーまたは無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用します。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用

無線デバイスは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用してオンとオフを切り替えることができます。無線デバイスがセットアップユーティリティで無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、最初にセットアップユーティリティで無線デバイスを有効に設定しなおしておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても (オンにしても)、コンピュータがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にマウスポインターを置きます。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。
2. [Windows モビリティ センター]の最下部にある[HP Wireless Assistant]の領域にある無線アイコンをクリックします。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. 通知領域の[HP Wireless Assistant]アイコンの横のチェックボックスにチェックを入れます。
5. [適用]をクリックします。
6. [閉じる]をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. [ヘルプ]ボタンをクリックします。

オペレーティング システムの制御機能の使用


一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

無線 LAN への接続

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセスポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルーターと無線アクセスポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセスポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

既存の無線ネットワークへの接続

コンピューターを既存の無線ネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線デバイスがオン（無線ランプが白色）になっていることを確認します。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、**無線**キーまたは無線ボタンを押します。
2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
3. 接続先のネットワークを選択します。
4. **[接続]**をクリックします。
5. ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティコードであるネットワークセキュリティキーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[OK]**をクリックして接続を完了します。

無線ネットワークのセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター（別売）(2)
- 無線コンピューター (3)

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



注記： 無線接続をセットアップする場合は、コンピューターと無線ルーターが同期されていることを確認します。コンピューターと無線ルーターを同期させるには、コンピューターと無線ルーターの電源をいったん切ってから再び投入します。

お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。


手順 1：高速インターネット サービスを購入する

すでに高速インターネット サービス（DSL、ケーブル、または衛星）を利用している場合は、[19 ページの「手順 2：無線ルーターを購入して取り付ける」](#)から始めてください。高速インターネット サービスを利用していない場合は、以下の操作を行います。


1. 高速インターネット サービスおよび DSL またはケーブル モデムを購入するには、利用する ISP に問い合わせてください。ISP では、モデムのセットアップ、無線コンピューターをモデムに接続するためのネットワーク ケーブルの取り付け、インターネット サービスのテストなどの作業を支援しています。
2. インターネットにアクセスするためのユーザー ID およびパスワードは、利用する ISP から提供されます。この情報は、記録して安全な場所に保管しておいてください。

手順 2：無線ルーターを購入して取り付ける

ルーターの製造元の説明書と無線コンピューターを使用して無線ルーターを取り付ける前に、この項の説明をよくお読みください。ルーターの取り付け中に技術サポートが必要になった場合は、ルーターの製造元に問い合わせてください。

 **注記：** ルーターと一緒に包装されているネットワーク ケーブルを使用して、新しい無線コンピューターをルーターに一時的に接続することをおすすめします。これによって、お使いのコンピューターからインターネットへと確実にアクセスできます。

1. コンピューターの無線ランプが白色になっていることを確認します。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、[無線キー](#)または無線ボタンを押します。
2. ルーターの取り付け中に、ルーターの製造元のソフトウェアを使用してネットワーク名（SSID）を変更したり、無線ネットワークのプライバシー保護のためにセキュリティを有効にしたりできます。ルーターの多くは出荷時に、初期設定のネットワーク名が割り当てられ、またセキュリティが無効になっています。ルーターのセットアップ中に初期設定のネットワーク名を変更するか、またはセキュリティを有効にした場合は、これらの情報を記録して安全な場所に保管しておいてください。これらの情報は、このコンピューターや既存の他のコンピューターをこのルーターにアクセスするように設定する場合に必要になります。

 **注記：** セキュリティを有効にしないと、気付かないうちに不正な無線ユーザーがコンピューター上のデータにアクセスしたり、インターネット接続を使用したりする可能性があります。無線ネットワークのセキュリティ保護について詳しくは、[ヘルプとサポート]の『Wireless guide』（無線ガイド）を参照してください。

Windows オペレーティング システムには、初めて無線ネットワークをセットアップする場合に役立つツールも用意されています。Windows ツールを使用してネットワークをセットアップするには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[新しい接続またはネットワークのセットアップ]→[新しいネットワークのセットアップ]の順に選択します。画面の説明に沿って操作します。

手順 3：コンピューターを無線ネットワークに接続するように設定する

1. 無線デバイスがオン（無線ランプが白色）になっていることを確認します。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、[無線キー](#)または無線ボタンを押します。
2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
3. 接続先のネットワークを選択します。
4. **[接続]**をクリックします。

5. ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティコードであるネットワークセキュリティキーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[OK]** をクリックして接続を完了します。
6. Web ブラウザーを開いて Web サイトにアクセスすることによって、無線ネットワークをテストします。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティレベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) -Personal と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッターを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルーターといったトランスミッターの多くには、無線セキュリティプロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッターを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティプロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティキーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」(temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。


他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイル ネットワーク事業者と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

 **注記：** 無線 WAN 機能を搭載したコンピューターは、横（プライマリ）および縦（セカンダリ）の方向のみをサポートしています。

HP モバイル ブロードバンドは、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSPA (High Speed Packet Access) は、GSM (Global System for Mobile Communications) 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO (Evolution Data Optimized) は、CDMA (Code Division Multiple Access) 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM (Subscriber Identity Module) が必要な場合があります。SIM には、PIN (個人識別番号) やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着および取り出しについては、[21 ページの「SIM の装着」](#)および[22 ページの「SIM の取り出し」](#)を参照してください。

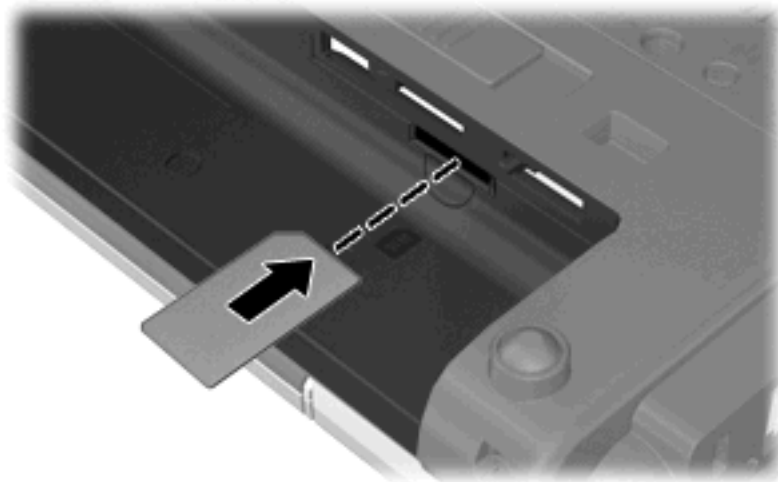
HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband>（英語サイトのみ）を参照してください。

SIM の装着


△ **注意：** コネクタの損傷を防ぐため、SIM を挿入するときは無理な力を加えないでください。

SIM を装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリーを取り付けなおします。

 **注記：** バッテリーを装着しなおさないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

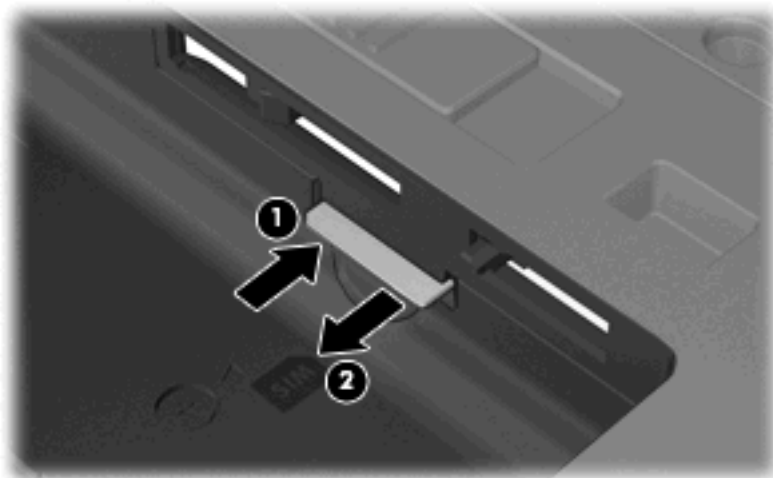
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。

5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを取り付けなおします。
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター (デスクトップ、ノートブック、PDA)
- 電話機 (携帯、コードレス、スマートフォン)
- イメージング デバイス (プリンター、カメラ)
- オーディオ デバイス (ヘッドセット、スピーカー)

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN (Personal Area Network) を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有 (ICS)

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有 (ICS) が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および

Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピュータを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

有線ネットワークへの接続

ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル (別売) が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (1) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端 (2) をコンピューター側に向けます。



LAN に接続するには、以下の操作を行います。


1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ネットワーク ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます (2)。



△ 警告！ 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

3 ポインティング デバイス、タッチ スクリーン、およびキーボード

ポインティング デバイスの使用

 **注記：** タッチパッド以外に、外付け USB マウスをコンピューターの USB コネクタのどれかに接続できます。


ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows®の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[マウス設定]を選択します。

タッチパッドの使用

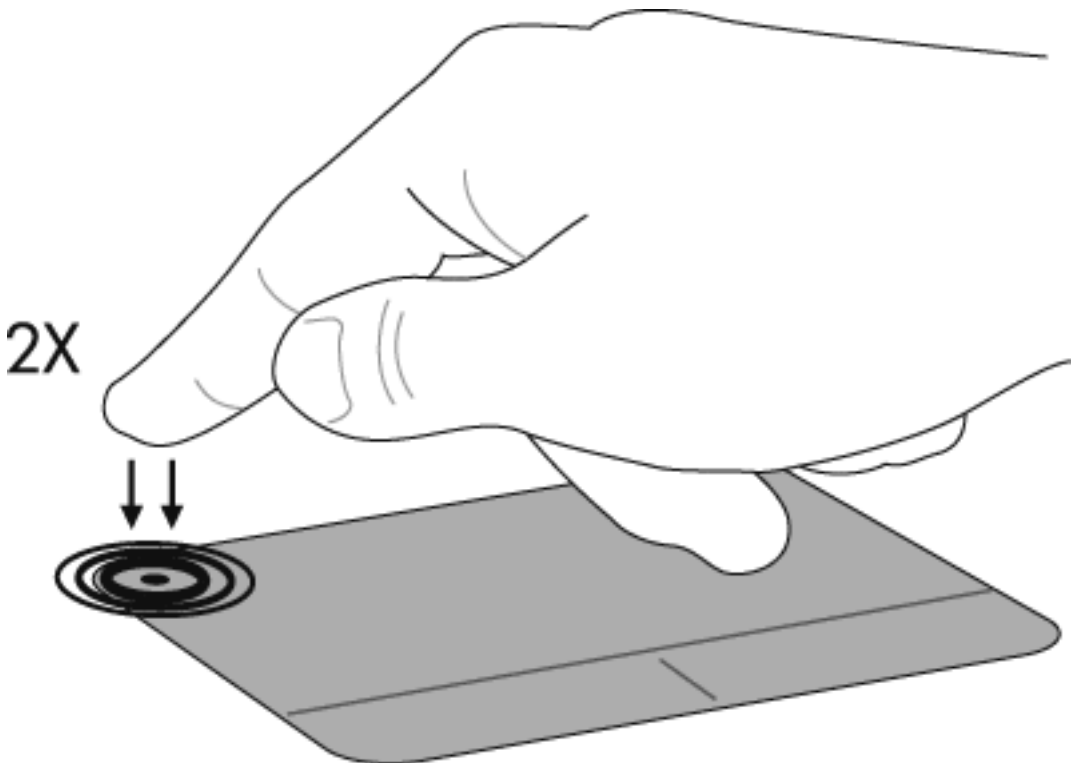
ポインターを移動するには、1本の指でタッチパッドの表面に触れ、ポインターを移動したい方向に指をスライドさせます。左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。

 **注記：** タッチパッドの各部については、[3 ページの「タッチパッド」](#)を参照してください。

タッチパッドをオンまたはオフにする

出荷時設定では、タッチパッドはオンになっています。タッチパッド ゾーンがアクティブになっている場合は、ランプが消灯します。

タッチパッド ゾーンのオンとオフを切り替えるには、タッチパッド オフ インジケーターをすばやくダブルタップします。



タッチパッド ジェスチャの使用

タッチパッドでは、さまざまな種類のタッチパッド操作（タッチパッド ジェスチャ）がサポートされています。タッチパッド操作を行うには、以下の項目で説明しているように、2本の指を同時にタッチパッド上に置きます。

- ☞ **注記：** タッチパッドの表面上であれば、どこでもスクロールしたりピンチしたりできます。回転ジェスチャは、タッチパッドゾーン内で行う必要があります。

ここで説明するタッチパッド操作は、工場出荷時に有効になっています。これらの操作を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

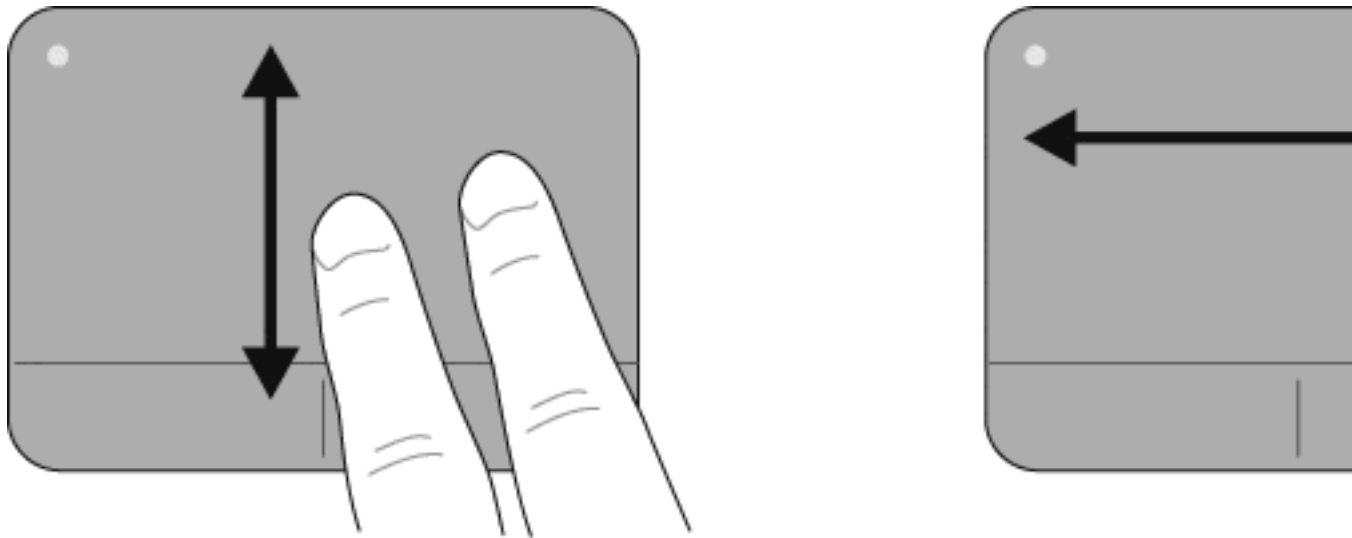
1. タスクバーの右端の通知領域にある**[Synaptics]**（シナプティクス）アイコンをダブルクリックしてから、**[Device Settings]**（デバイスの設定）タブをクリックします。
2. デバイスを選択し、**[Settings]**（設定）をクリックします。
3. 無効または再び有効にする操作を選択します。
4. **[Apply]**（適用）→**[OK]**の順にクリックします。

- ☞ **注記：** お使いのコンピューターでは、工場出荷時に無効になっている他のタッチパッド機能もサポートされています。これらの機能を表示および有効にするには、タスクバーの右端の通知領域にある**[Synaptics]**アイコン→**[Device Settings]**タブの順にクリックします。デバイスを選択し、**[Settings]**をクリックします。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールするには、2本の指を少し離してタッチパッド上に置き、タッチパッド上で上下左右の方向にドラッグします。

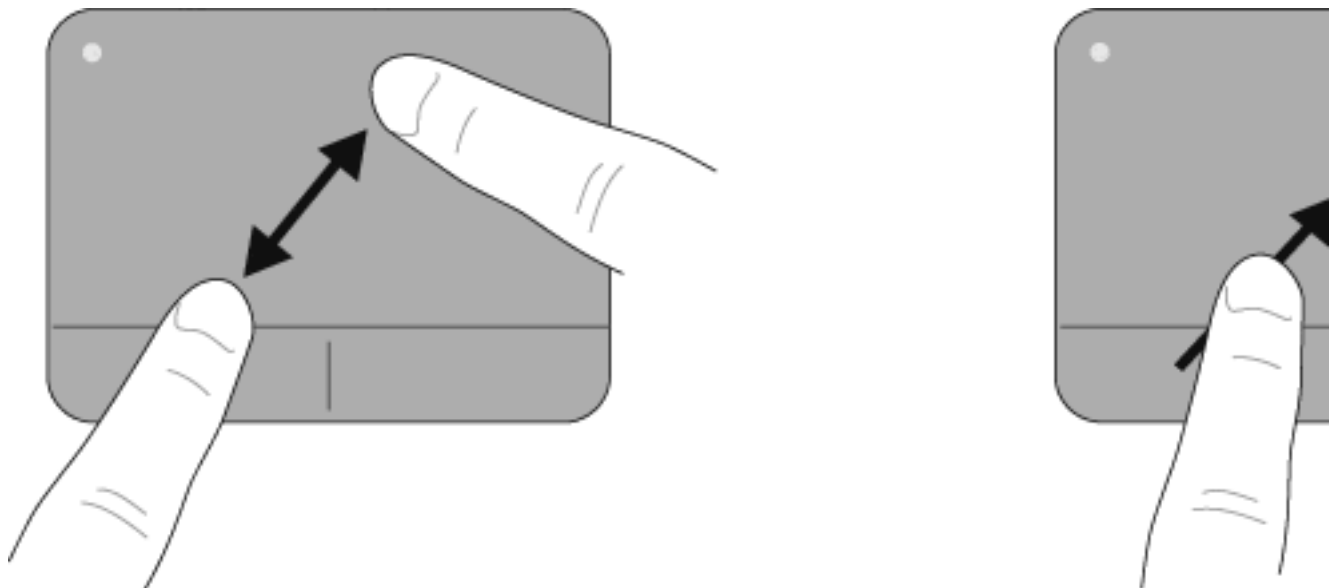
- ☞ **注記：** スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。



ピンチ/ズーム


ピンチ/ズーム ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などを拡大または縮小できます。

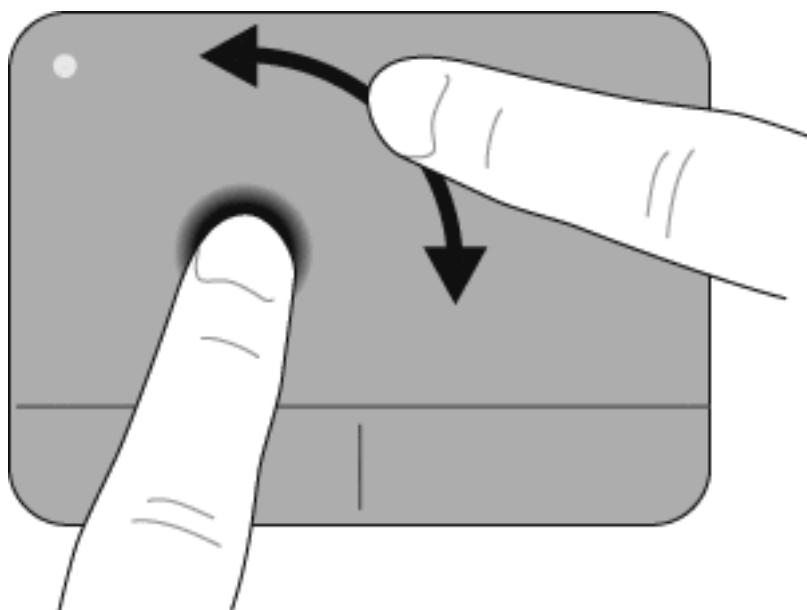
- タッチパッド上に2本の指を一緒の状態にして置き、その2本の指の間隔を徐々に広げること
で、オブジェクトのサイズを拡大してズームインできます。
- タッチパッド上に2本の指を互いに離れた状態にして置き、その2本の指の間隔を徐々に狭める
ことで、オブジェクトのサイズを縮小してズームアウトできます。



回転

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどを回転できます。回転させるには、左手の人差し指をタッチパッドゾーンに固定します。固定した指を中心として、右手の人差し指を12時から3時の位置へと弧を描きながら動かします。逆方向へと回転させるには、右手の人差し指を3時から12時の方向に動かします。

 **注記：** 回転ジェスチャは、タッチパッドゾーン内で行う必要があります。



デジタイザー ペンの使用

タブレット PC 入力パネルなどのペン用プログラム、すべての Microsoft® Office プログラム、およびその他のほとんどの Windows プログラムとユーティリティで、ペンを使用して書くことができます。ペンで画面に書いた情報は、ファイルに保存したり、検索したり、ほとんどの Windows 対応プログラムで共有したりできます。

ペンの各部の名称

デジタイザー ペンのペン先 (1) を画面に押し付けると、コンピューターがペンに反応します。

ペンのケーブル取り付け穴 (2) にケーブルを通し、そのケーブルをコンピューター本体のケーブル穴につなげることができます。



ペンの持ち方

ペンの持ち方は、通常のペンまたは鉛筆と同じです。

ペンの保管

ペンを使用しないときは、コンピューター本体のペンホルダーにペン先からペンを挿入して保管します。



タッチスクリーンの使用

ディスプレイの回転

ディスプレイを回転してコンピューターをタブレットスタイルを使用するには、以下の操作を行います。

1. ディスプレイを開きます。
- 2.



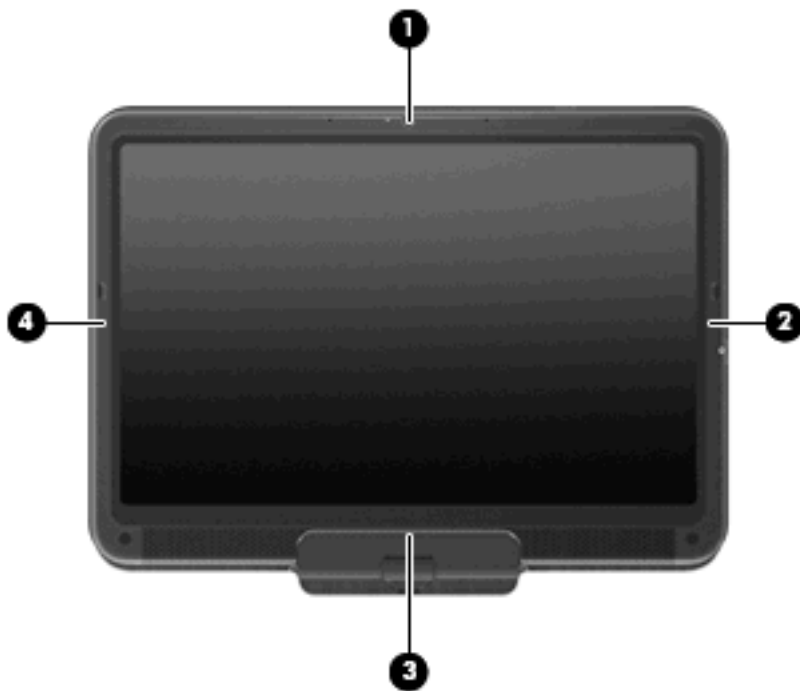
3. ディスプレイをキーボードの位置まで下げます。



注記： コンピューターの損傷を防ぐため、ディスプレイを無理に 180 度以上回転させないでください。また、タブレットスタイルで使用している間はコンピューターを移動しないでください。

回転ボタンの使用

コンピューターをタブレットスタイルで使用している場合は、コンピューターの右側面にある回転ボタンを押して表示画面の向きを変更します。ボタンを押すと、表示画面の上部が時計回りの方向に 90 度ずつ、横（セカンダリ）（1）、縦（プライマリ）（2）、横（プライマリ）（3）、および縦（セカンダリ）（4）の順に回転します。



注記： 無線 WAN 機能を搭載したコンピューターでは、横（プライマリ）（3）と縦（セカンダリ）（4）の方向のみがサポートされています。

タッチ スクリーン ジェスチャの使用

コンピューターでは、タッチ スクリーン上で指またはデジタイザー ペンを使用して特定のアクション（タッチ スクリーン ジェスチャ）を実行できます。

注記： ここに示す手順は、出荷時の設定に基づいています。認識されているクリックとフリックの設定を変更するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]の順に選択します。

注記： プログラムによっては、一部の操作がサポートされていない場合があります。

タップ（またはクリック）

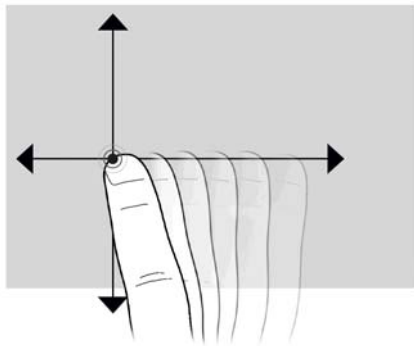
タッチパッドまたは外付けマウスでクリックまたはダブルクリックする操作と同じように、画面上の項目をタップまたはダブルタップします。項目をタップして押し続けると、右のタッチパッド ボタンを押したときと同じようにコンテキストメニューが表示されます。

注記： オペレーティング システムによって指が触れている領域のまわりに円が表示されるまで、タップした指を置いたままにする必要があります。円が表示された後、コンテキストメニューが表示されます。

フリック

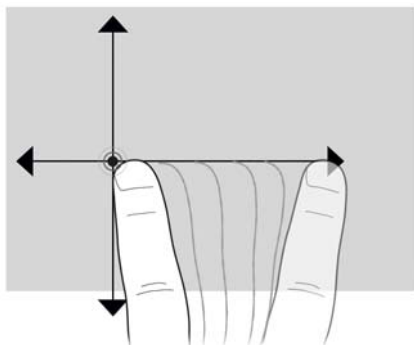
画面にタッチして上、下、左、または右方向に払いのけるように早く動かすと、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。

☞ **注記：** フリックの操作を有効にするには、スクロールバーが表示され、アクティブなウィンドウに存在している必要があります。



ドラッグ

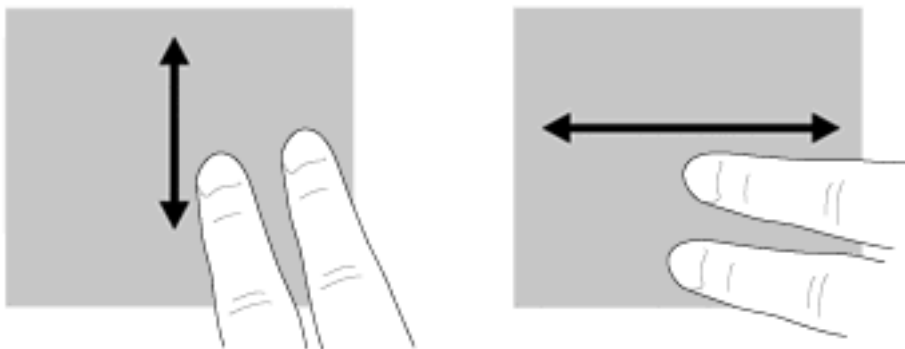
画面上の項目に指を押し当てて、その指を動かすと、その項目を新しい場所にドラッグできます。この動作でドキュメントをゆっくりスクロールすることもできます。



スクロール

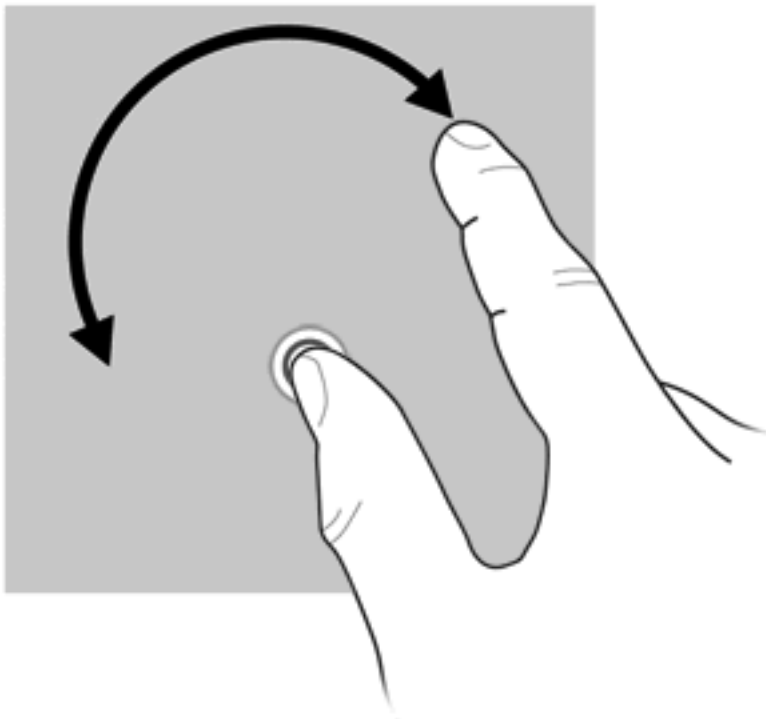
スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールするには、2本の指を少し離して画面に置き、画面上で上下左右の方向にドラッグします。

☞ **注記：** スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。



回転

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどを回転させることができます。回転させるには、画面に親指を固定して、親指の周囲に半円を描くように、人差し指を動かします。

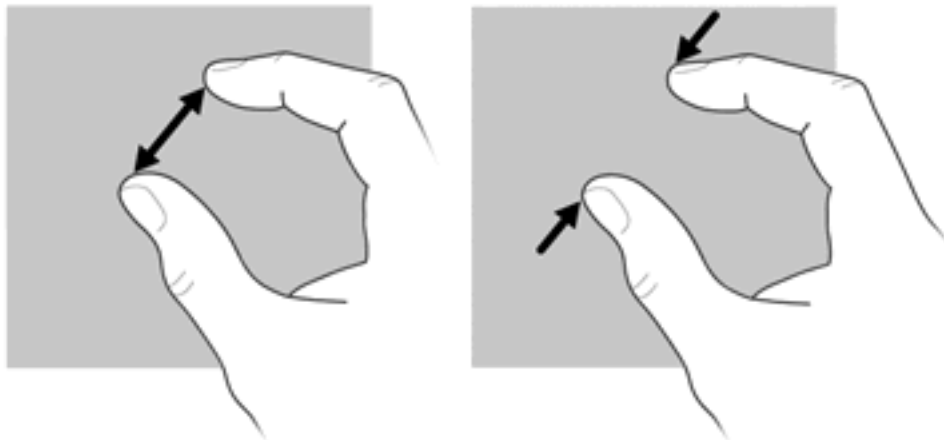


ピンチ

ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などの項目を拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- 画面上で2本の指を互いに離れた状態にして、その2本の指の間隔を狭めてオブジェクトのサイズを縮小することで、ズームアウトできます。
- 画面上で2本の指を一緒の状態にして、その2本の指の間隔を広げてオブジェクトのサイズを拡大することで、ズームインできます。



タッチスクリーンの設定

- ▲ 視覚的情報の設定を行うには、[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]の順に選択します。この設定は、タッチスクリーンとコンピューターに固有のものであります。
- ▲ 右利きと左利きの設定を行うには、[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Tablet PC 設定]→[その他]タブの順に選択します。この設定は、タッチスクリーンとコンピューターに固有のものであります。
- ▲ ポインティング デバイスのポインター速度、クリック速度、マウスの軌跡などの設定を変更するには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、[マウス設定]を選択します。この設定は、システムのすべてのポインティング デバイスに適用されます。

クリックの設定を変更またはテストするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]→[ペンのオプション]タブの順に選択します。
2. [ペン操作]の下で、操作を選択し、[設定]をクリックします。
3. 変更を行うか、設定をテストしてから[OK]をクリックします。


フリックの割り当てを変更または作成するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]→[フリック]タブの順に選択します。
2. [ナビゲーションフリックと編集フリック]→[カスタマイズ]の順にクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作し、フリックの割り当てを変更または作成します。
4. [OK]をクリックします。

操作キーの使用



操作キーとは、キーボード上部にある特定のキーに割り当てられ、カスタマイズされた動作を行うキーのことです。







操作キーを使用するには、そのキーを押したままにして、キーに割り当てられている操作を有効にします。

 **注記：** 使用中のアプリケーションによっては、**fn** およびどれかの操作キーと一緒に押すと、そのアプリケーション内で専用のショートカットメニューが表示されます。

注記： 操作キーの機能は、出荷時の設定で有効になっています。この機能は、セットアップユーティリティ (BIOS) で無効にできます。また、**fn** およびどれかの操作キーと一緒に押すと、キーに割り当てられている操作を再び有効にできます。詳しくは、[106 ページの「セットアップユーティリティ \(BIOS\)」](#)を参照してください。

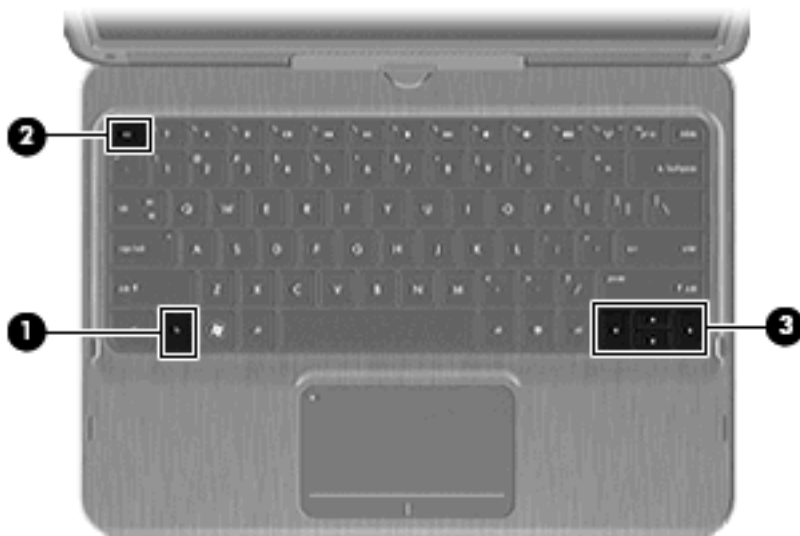


アイコン	操作	説明
	ヘルプとサポート	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティングシステムとコンピューター、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターのアップデートに関する情報が提供されます また、自動的なトラブル解決の方法およびサポート サイトへのリンクも提供されます
	画面の輝度下げ	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	画面の輝度上げ	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	画面の切り替え	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合にこのキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。表示画面切り替えキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	前のトラック	オーディオ CD の前のトラック、または DVD か BD の前のチャプターを再生します
	再生/一時停止	オーディオ CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開します <ul style="list-style-type: none">オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、このキーを押すと再生が開始または再開されますオーディオ CD、DVD、または BD の再生中にこのキーを押すと、再生が一時停止します

アイコン	操作	説明
	停止	CD、DVD、またはBDのオーディオやビデオの再生を停止します
	次のトラック	オーディオCDの次のトラック、またはDVDかBDの次のチャプターを再生します
	音量下げ	このキーを押し続けると、スピーカーの音が一定の割合で徐々に下がります
	音量上げ	このキーを押し続けると、スピーカーの音が一定の割合で徐々に上がります
	ミュート（消音）	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	無線機能	無線機能をオンまたはオフにします 注記： このキーでは無線接続は確立されません。無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります
prt sc	画面の印刷	コンピューター画面のスナップショットまたは画像が取り込まれてクリップボードにコピーされます

ホットキーの使用

ホットキーは、**fn** キー (1) と、**esc** キー (2) または矢印キーのどれか (3) の組み合わせです。



	ホットキー	説明
システム情報の表示	fn + esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます
▲ 上にスクロール	fn + 上向き矢印	画面を上スクロールします
▼ 下にスクロール	fn + 下向き矢印	画面を下スクロールします
◀ 先頭に移動	fn + 左向き矢印	カーソルがある行の先頭に移動するか、またはドキュメントの先頭にカーソルが戻ります
▶ 末尾に移動	fn + 右向き矢印	カーソルが行の末尾に移動するか、またはドキュメントの末尾にスクロールします

ホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く **fn** キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。
または
- **fn** キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

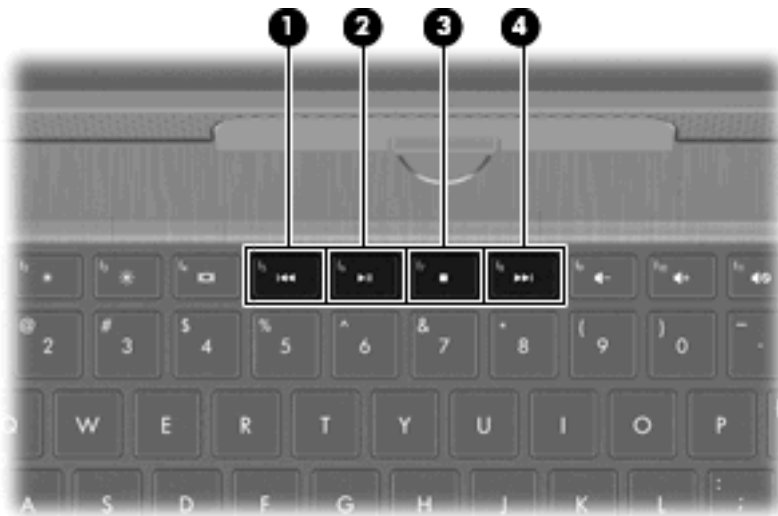
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア キー

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

メディア操作キーの使用

メディア操作キーは、外付けオプティカルドライブ（別売）内のオーディオ CD、DVD、または BD の再生を調整します。

- オーディオ CD または DVD が再生中でない場合、再生/一時停止キー（2）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD または DVD の再生中は、以下のキーを使用できます。
 - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD の前のチャプターを再生するには、前のトラックキー（1）を押します。
 - ディスクの再生を一時停止または再開するには、再生/一時停止キー（2）を押します。
 - ディスクを停止するには、停止キー（3）を押します。
 - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD の次のチャプターを再生するには、次のトラックキー（4）を押します。



マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。

外付けオプティカル ドライブ（別売）がある場合は、マルチメディアに関する以下の操作も実行できます。

- オーディオ/ビデオ CD およびオーディオ/ビデオ DVD を含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- DVD やビデオ CD でのビデオまたは動画の作成、編集、および書き込み

[HP TouchSmart]ソフトウェアまたは[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

お使いのコンピューターのモデルによって、[HP TouchSmart]または[HP MediaSmart]ソフトウェアがプリインストールされている場合があります。[HP TouchSmart]および[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、写真コレクションの管理および編集を行うことができます。

[HP TouchSmart]および[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

- インターネット接続によって、従来のさまざまなテレビ番組とチャンネルに加え、コンピューターにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフルスクリーンでご覧いただけます。
- 写真および動画のアップロードに対応しています。
 - 写真を Snapfish などのインターネット上の写真サービスにアップロードできます。
 - ホーム ビデオを YouTube に直接アップロードできます。
 - Web カメラで作成した動画をインターネットにアップロードできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP TouchSmart]または[HP MediaSmart]を起動するには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの[HP TouchSmart]アイコンまたは[HP MediaSmart]アイコンをダブルタップします。

マルチメディア ソフトウェアの使用

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合は、[Windows Media Player]をクリックします。

または

1. ディスクを外付けオプティカル ドライブ（別売）に挿入します。


[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。

2. 一覧からマルチメディア タスクをクリックして、そのタスクに使用するソフトウェアを選択します。


ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

お使いのコンピューターにオプティカル ドライブは内蔵されていませんが、以下のどちらかの方法で、ソフトウェアへのアクセス、アプリケーションのインストール、およびデータへのアクセスを簡単に行えます。

- 外付けオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ、または別売）をコンピューターの USB コネクタのどれかに接続します。

 **注記：** 外付けオプティカル ドライブについて詳しくは、[80 ページの「外付けドライブの使用」](#)を参照してください。

- ネットワーク上の別のコンピューターに接続されているオプティカル ドライブを共有します。

 **注記：** オプティカル ドライブを共有するには、ネットワークがセットアップされている必要があります。オプティカル ドライブの共有について詳しくは、[82 ページの「オプティカルドライブの共有」](#)を参照してください。

注記： DVD ムービーやゲーム ディスクといった種類のディスクはコピーが防止されている場合があります。その場合、DVD または CD を共有して使用することはできません。

オーディオ

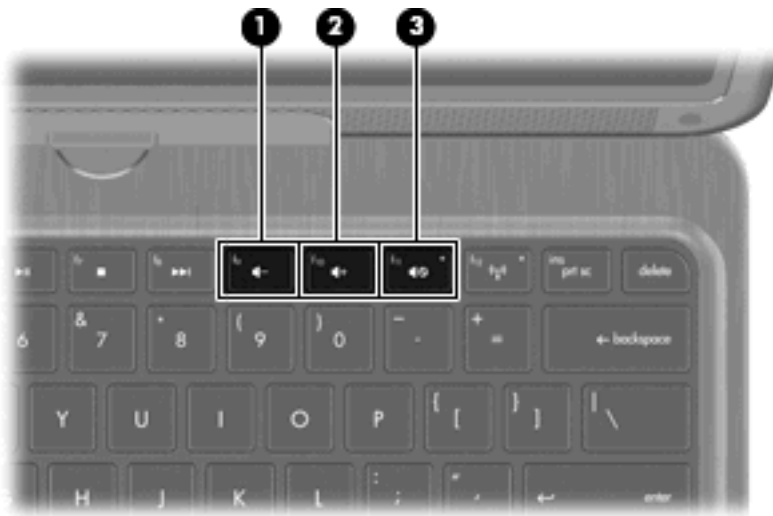
お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。


- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング
- 別売のオプティカルドライブを使用したオーディオ CD の作成（書き込み）

音量の調整


音量の調整には、コンピューターの音量キーを使用できます。

- 音量を下げるには、**音量下げキー**（1）を押します。
- 音量を上げるには、**音量上げキー**（2）を押します。
- スピーカーの音を消したり元に戻したりするには、**ミュート（消音）キー**（3）を押します。




 **注記：** 音量の調整には、Windows オペレーティング システムおよび一部のプログラムを使用することもできます。

外付けオーディオ デバイスの接続

 **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオ、ヘッドセット型マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルが、オーディオ出力（ヘッドフォン）およびオーディオ入力（マイク）の両方をサポートする 4 芯コネクタを備えていることを確認します。
- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。


 **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラを使用すると、動画を撮影したり共有したりできます。

Web カメラを使用するには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの[HP TouchSmart]アイコンまたは[HP MediaSmart]アイコンをダブルタップして、以下のどちらかの操作を行います。
 - 画面の動画アイコン (1) をタップします。
Web カメラのボタンを表示するウィンドウが開きます。
 - [Web カメラ]ボタンをタップします。

 **注記：** 動画モジュールで、Web カメラの起動、動画の作成、および動画の YouTube へのアップロードができます。

または

- ▲ 画面の下部にある小さな[Web カメラ]アイコン (2) をタップします。



パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラのプロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。通常このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティメニューからアクセスできます。

- [輝度]：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定するとより明るい画像になり、輝度を低く設定するとより暗い画像になります。
- [コントラスト]：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- [色相]：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- [色彩]：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- [シャープネス]：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- [ガンマ]：中間レベルのグレーまたはイメージの中間トーンに影響するコントラストを調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレー トーンの明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。
- [バックライト補正]：バックライトの明るさを調整します。（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。）

Web カメラの使用方法について詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

動画

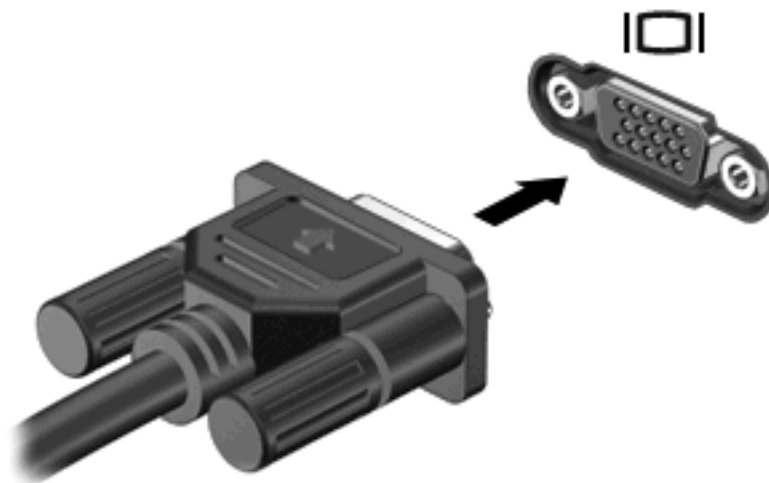
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- 画像や動画の編集およびプレゼンテーションの作成
- 外付けビデオ デバイスの接続
- インターネットを介したテレビの視聴

外付けモニター コネクタの使用

外付けモニター コネクタによって、外付けモニターまたはプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピューターに接続できます。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



注記： 外付けディスプレイ デバイスを正しく接続しても画像が表示されない場合は、[画面の切り替えキー](#)を押して画像をデバイスに転送します。このキーを繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続

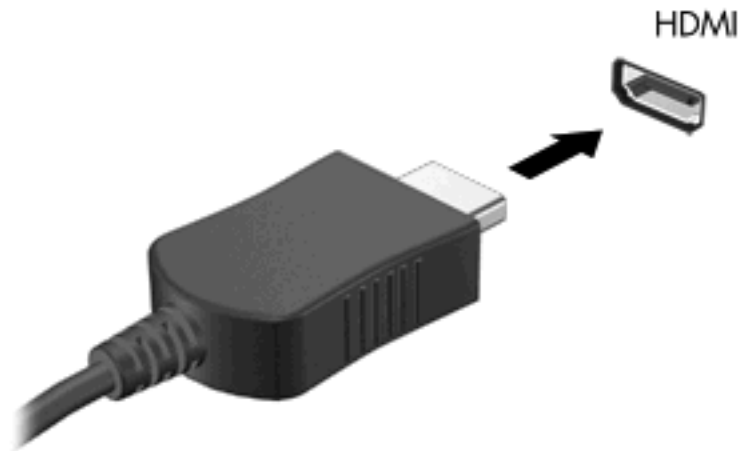
コンピューターには、HDMI (High Definition Multimedia Interface) コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

注記： HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、HDMI ケーブル (別売) が必要です。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **画面の切り替え** キーを押します。

HDMI 用のオーディオの設定

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端の通知領域にある **[スピーカー]** アイコンを右クリックし、**[再生デバイス]** をクリックします。
2. **[再生]** タブで **[デジタル出力]** または **[デジタル出力デバイス (HDMI)]** をクリックします。
3. **[既定値に設定]** → **[OK]** の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある **[スピーカー]** アイコンを右クリックし、**[再生デバイス]** をクリックします。
2. **[再生]** タブで **[スピーカー]** をクリックします。
3. **[既定値に設定]** → **[OK]** の順にクリックします。

5 電源の管理

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合には、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源スイッチでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

☞ **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]をクリックします。
3. [シャットダウン]をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- `ctrl + alt + delete` キーを押し、[電源]ボタンをクリックします。
- 電源スイッチを 5 秒程度スライドさせたままにします。
- コンピューターを外部電源から切断し、バッテリーを取り外します。

電源デバイスの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スリープおよびハイバネーションです。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、スリープを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

ハイバネーションを開始すると、データがハードドライブのハイバネーションファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

🔒 **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

スリープの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が15分間続いた場合、または外部電源の使用時に操作しない状態が30分間続いた場合に、スリープを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトはWindowsの[コントロールパネル]の[電源オプション]で変更できます。

コンピューターの電源がオンの場合、以下のどれかの方法でスリープを開始します。

- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイを閉じます。
- [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[スリープ]の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下のどれかの操作を行います。

- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開きます。
- キーボードのキーを押します。
- タッチパッドを操作します。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わり、作業を中断した時点の画面に戻ります。

🔒 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前にWindowsパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が1080分（18時間）続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が1080分（18時間）続いた場合、または完全なローバッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。


ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

▲ [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[休止状態]の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

▲ 電源スイッチを短くスライドさせます。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

節電

- Windows の[コントロール パネル]で、[システムとセキュリティ]の[電源オプション]から[省電力]電源プランを選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り外します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、画面の輝度のキーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリー メーターの使用

バッテリー メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリー メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリー メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリー メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター]アイコンの形の違いで判断できます。アイコンには、バッテリーがロー バッテリー状態、完全なロー バッテリー状態、または省電源移行バッテリー レベルになった場合にそのメッセージも表示されます。

[バッテリー メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. [隠れているインジケーターを表示します]アイコン (通知領域の左側にある矢印) を右クリックします。
2. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。

3. [動作]で、[電源]アイコンについて[アイコンと通知を表示]を選択します。
4. [OK]をクリックします。

電源プランの使用

電源プランはコンピューターがどのように電源を使用するかを管理するシステム設定の集まりです。電源プランは、節電やパフォーマンスの向上に役立ちます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

現在の電源プランの表示

- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源プランの選択

- ▲ 通知領域の[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択して、一覧から電源プランを選択します。


電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域の[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、[詳細な電源設定の変更]をクリックし、変更を行います。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[スリープ解除時のパスワード保護]をクリックします。
3. [現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックします。
4. [パスワードを必要とする (推奨)]をクリックします。


 **注記：** ユーザー アカウントを作成するか、現在のユーザー アカウントを変更する場合は、**[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]**をクリックしてから、画面に表示される説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

5. **[変更の保存]**をクリックします。


バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターがACアダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、ACアダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

 **注記：** 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**画面の輝度上げ**キーを押すか、ACアダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HPが提供する交換用バッテリー、またはHPから購入した対応するバッテリーを使用してください。


コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認

[ヘルプとサポート]では、バッテリーに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリーの性能をテストするための[HP バッテリー チェック]ツール
- バッテリーの寿命を延ばすための、バッテリー ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリーの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

[バッテリー情報]にアクセスするには、以下の操作を行います。


 **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[Learn] (ラーニング) →[Power Plans: Frequently Asked Questions] (電源プラン：よくある質問) の順に選択します。**

[HP バッテリー チェック]の使用

[ヘルプとサポート]では、コンピューターに取り付けられているバッテリーの状態について情報を提供します。

[HP バッテリ チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

 **注記：** [HP バッテリ チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. [スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング]→[電源、サーマル、および機械]の順に選択します。
3. [電源]タブをクリックし、[HP バッテリ チェック]をクリックします。

[HP バッテリ チェック]は、バッテリーとそのセルを検査して、バッテリーとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリー充電残量の表示


- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

バッテリーの着脱

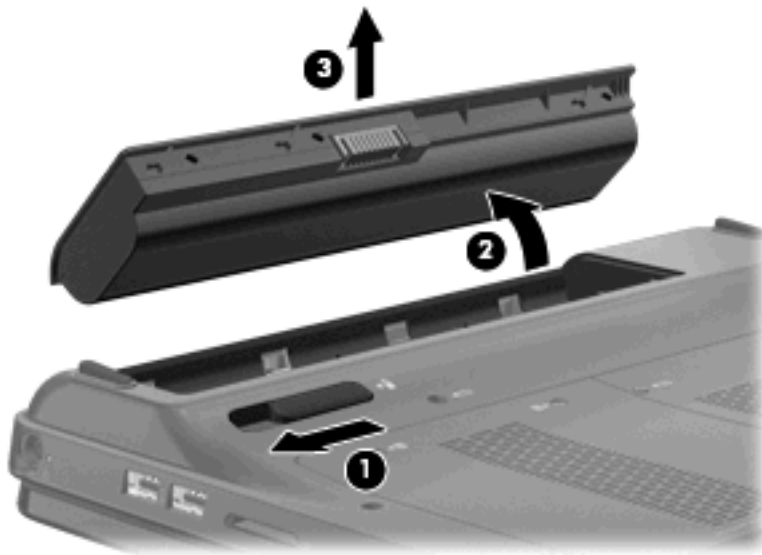
- △ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. ディスプレイを閉じ、コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリの固定を解除します。

 **注記：** バッテリ リリース ラッチは、自動的に元の位置に戻ります。

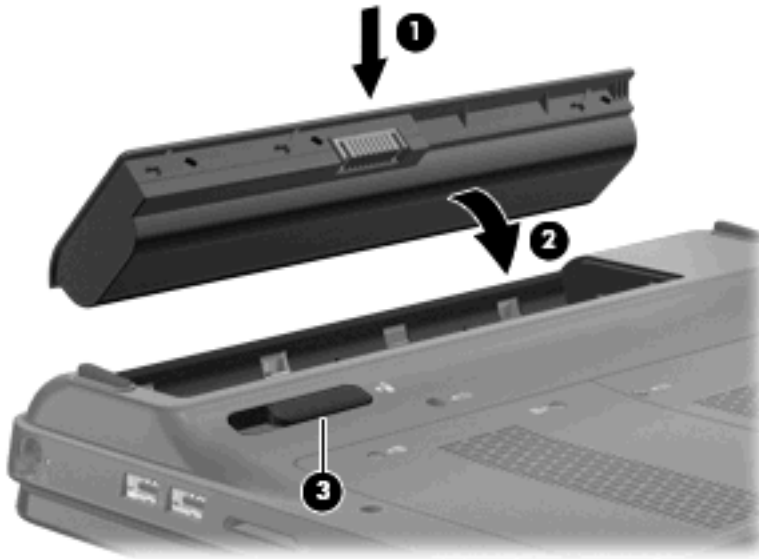
3. バッテリーを回転させるようにして引き上げて (2)、コンピューターから取り外します (3)。



バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

1. ディスプレイを閉じ、コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリーのタブをバッテリー ベイの外側の縁にあるくぼみに合わせ (1)、バッテリーを回転させるようにしてバッテリー ベイに挿入し、しっかりと収まるまで押し込みます (2)。

バッテリー リリース ラッチ (3) でバッテリーが自動的に固定されます。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

バッテリーは、コンピューターが外部電源 (AC アダプター経由) または別売の電源アダプターに接続している間、常に充電されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが白色に点灯するまでバッテリーを充電してください。

☞ **注記:** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域のバッテリー メーターに 100% と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5% 未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、単に充電を行うのではなく、バッテリー ゲージの調整を行います。

コンピューターのバッテリー ランプには、以下のように充電状態が表示されます。

- 消灯：お使いのコンピューターはバッテリー電源で動作しています。
- オレンジ色で点滅：バッテリーがロー バッテリー状態と完全なロー バッテリー状態のどちらかになっているか、またはバッテリー エラーが発生しています。
- オレンジ色に点灯：バッテリーが充電中です。
- 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーの充電は完了しています。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]の[省電力]設定を確認します。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。


ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態または完全なロー バッテリー状態になった場合は、通知領域の[バッテリー メーター]アイコンに、ロー バッテリー状態または完全なロー バッテリー状態の通知が表示されます。


バッテリーが完全なロー バッテリー状態になった場合は、[バッテリー メーター]アイコンの上に、バッテリー充電残量を示す通知が表示されます。

 **注記：** バッテリー メーターについて詳しくは、[54 ページの「バッテリー メーターの使用」](#)を参照してください。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

 **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどちらかを接続します。
 - AC アダプター
 - HP からオプション製品として購入した別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリーを取り外し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを開始します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源スイッチをスライドさせてハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリーの性能を最大化するために、以下の場合はバッテリーを調整してください。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

- ▲ バッテリーを調整する場合または詳細情報を参照する場合は、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

- ☞ **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

使用済みのバッテリーの処理

- △ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリーの正しい処理方法については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。バッテリーは消耗品です。

バッテリーの交換


コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[HP バッテリー チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリー容量が「ロー バッテリー」の状態になったときに、バッテリーを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリーの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリーが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

- ☞ **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。


グラフィックス モードの切り替え（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターには、Switchable Graphics が搭載されていて、グラフィックス処理に 2 つのモードを使用できます。外部電源からバッテリー電源に切り替える場合、コンピューターでは、高性能なグラフィックス モードから省電力モードへと使用が切り替わるため、バッテリー寿命の消費を防ぐことができます。同様に、バッテリー電源から外部電源に切り替える場合、コンピューターを高性能なグラフィックス モードに戻すことができます。

 **注記：** 場合によっては、コンピューターのパフォーマンスを最適化するため、モードの切り替えがシステムによって許可されなかったり、モードの切り替えをシステムによって求められたりすることがあります。切り替えの前に、すべてのプログラムの終了が必要となることもあります。

注記： HDMI は高性能なグラフィックス モードでのみ使用できます。省電力モードを使用している場合は、HDMI を使用できません。

外部電源とバッテリー電源を切り替えるときに、グラフィックス モードが切り替わることが、コンピューターによって通知されます。必要に応じて、同じグラフィックス モードを使用し続けるように選択できます。コンピューターによってモードが切り替えられると、数秒間画面に何も表示されなくなります。切り替えが完了すると、通知領域に通知が表示され、画面の画像が再び表示されます。

 **注記：** コンピューターのモデルがタブレットスタイルの場合は、グラフィックス モードを切り替えるときに画面方向がリセットされます。

どちらのグラフィックス モードを使用しているかを確認するには、以下の操作を行います。

▲ Windows デスクトップを右クリックし、**[Configure Switchable Graphics]**（Switchable Graphics の設定）をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、付属の AC アダプターを通じてコンピューターに供給されます。

- △ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターのみを使用してください。

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

- バッテリー充電するか、バッテリー ゲージを調整する場合

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- 別売の外付け CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域の[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**画面の輝度上げ**キーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

外部電源の接続

- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

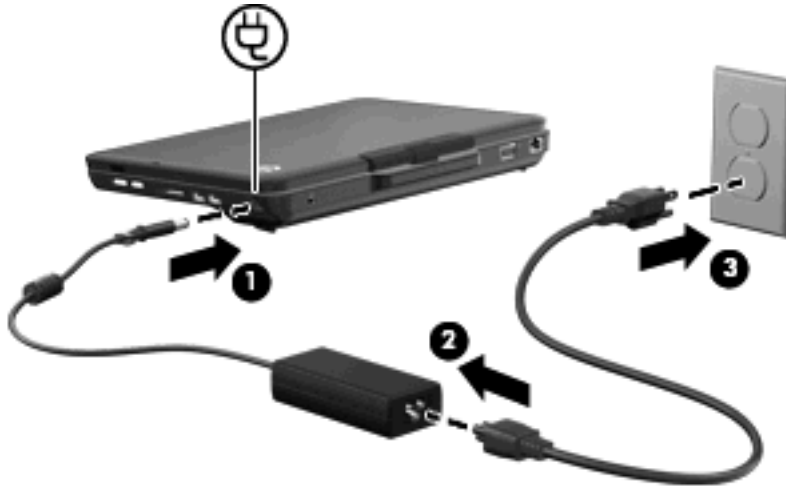
コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. アダプターをコンピューターの電源コネクタに差し込みます (1)。
2. 電源コードをアダプターに差し込みます (2)。

3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



AC アダプターのテスト

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターからバッテリーを取り外します。
2. AC アダプターをコンピューターに接続してから、電源コンセントに接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。
 - 電源ランプが点灯している場合は、AC アダプターは正常に動作しています。
 - 電源ランプが消灯したままになっている場合は、AC アダプターが動作していないため交換する必要があります。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、サポート窓口にお問い合わせください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート情報の入手]の順に選択します。

6 外付けデバイス

メディアカードの使用

別売のメディアカードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタルメディア対応のカメラやPDAなどでよく使用されます。

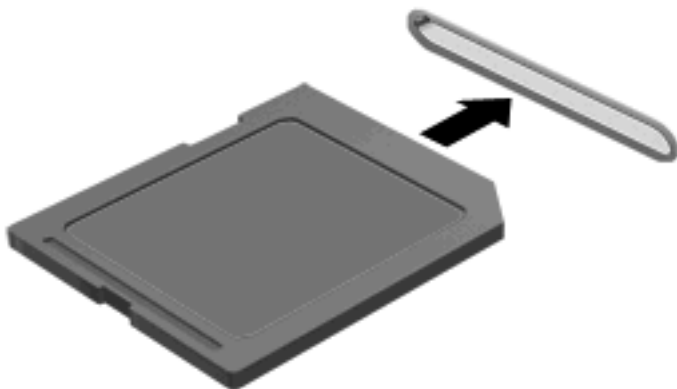
お使いのコンピューターのメディアカードスロットは、以下のフォーマットのメディアカードに対応しています。

- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- マルチメディアカード
- SD (Secure Digital) メモリーカード
- xD ピクチャーカード

メディアカードの挿入

△ **注意：** メディアカードコネクタの損傷を防ぐため、メディアカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。

1. メディアカードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. メディアスロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディアカードの取り出し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディアカードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディアカードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティングシステムの[コピー中]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. メディアカードを取り出すには、以下の操作を行います。

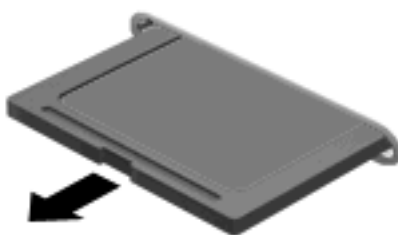
- a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

☞ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

- b. 一覧からメディアカード名をクリックします。

☞ **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. メディアカードをスロットから引き出します。



USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

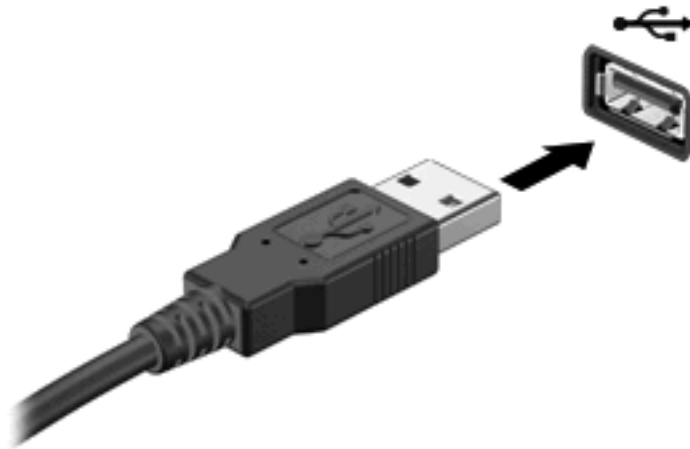
USB コネクタを使用して、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを、コンピューターに接続します。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

コンピューターには 3 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。USB コネクタをさらに追加するには、別売のハブを接続します。

USB デバイスの接続

- △ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの接続時に必要以上の力を加えないでください。
- ▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB ポートに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。


- ☞ **注記：** USB デバイスを初めて接続した場合は、タスクバーの右端の通知領域に[デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています]というメッセージが表示されます。

USB デバイスの取り外し


- △ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。
- 注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

 **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されません。

3. デバイスを取り外します。

7 ドライブ

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

- △ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。


ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上


ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) では、ディスク デフラグを実行する必要はありません。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [ディスクの最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。


1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、データ要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリー電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリー電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらのどちらかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) には駆動部品がないため、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は必要ありません。

注記： USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の対象外です。

詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認


コンピューターのドライブランプがオレンジ色に点灯し、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、**[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェックマークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤のX印がハードドライブアイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブアイコンに重なって表示されます。

[Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]**の順に選択します。


 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、**[はい]**をクリックします。

2. **[システム トレイ上のアイコン]**行で**[表示]**をクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。

停止されたハードドライブでの電源管理

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない


 **注記：** コンピューターがバッテリー電源で動作中に完全なローバッテリー状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されます。

コンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。


- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

 **注記：** [ユーザー アカウント制御]のウィンドウが表示されたら、[はい]をクリックします。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

ハードドライブの交換

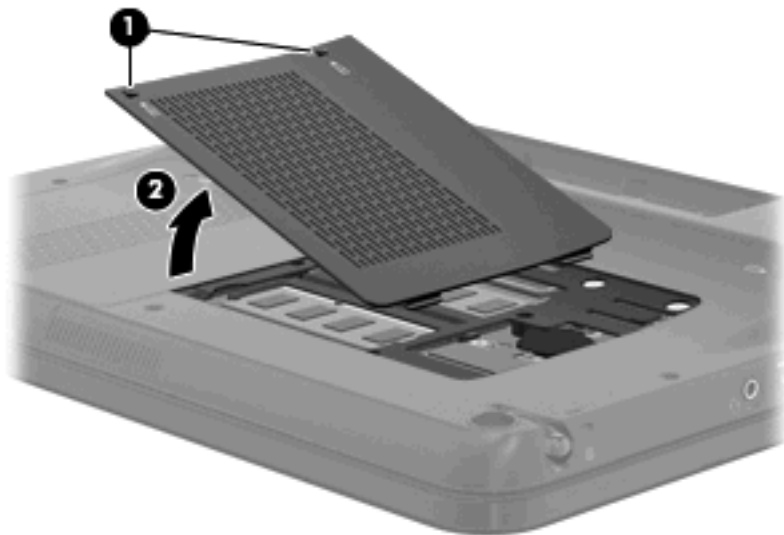
△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

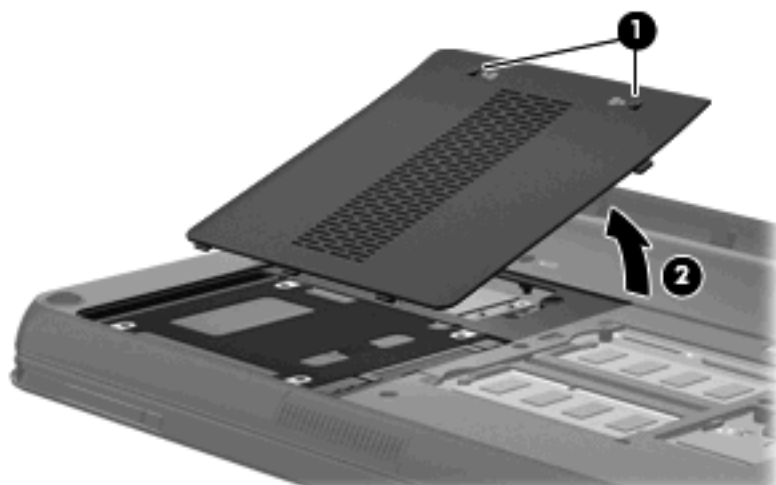
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. 以下の要領で、メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します。
 - a. メモリ モジュール コンパートメントの2つのネジ (1) を緩めます。
 - b. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します (2)。

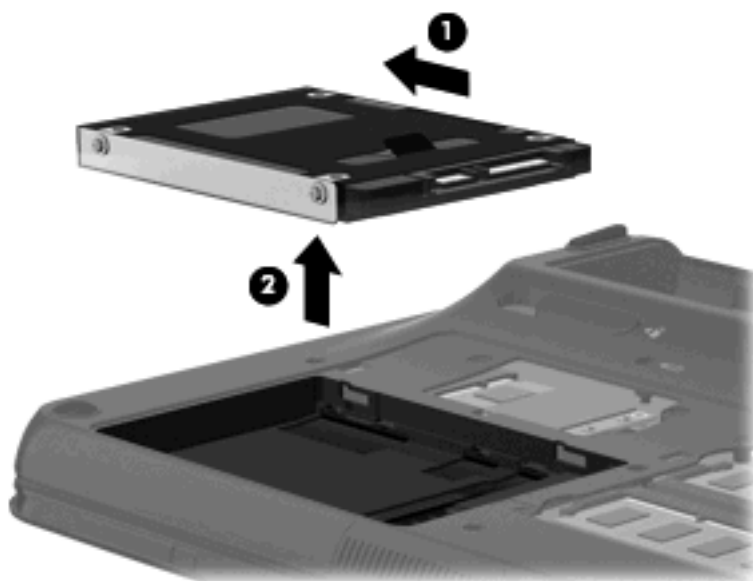


8. 以下の要領で、ハードドライブ カバーを取り外します。
 - a. ハードドライブ カバーの2つのネジ (1) を緩めます。

- b. ハードドライブ カバーを取り外します (2)。



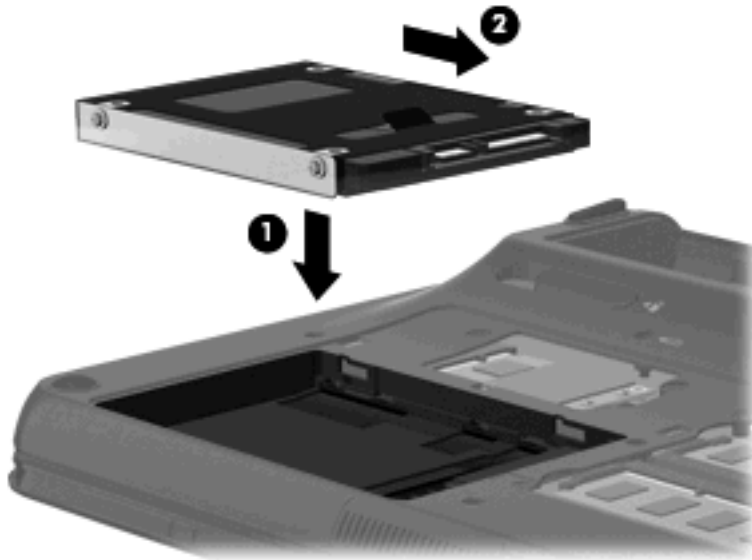
9. ハードドライブ タブを左方向に引いて (1)、ハードドライブの固定を解除します。
10. ハードドライブを持ち上げて (2) ハードドライブ ベイから取り外します。



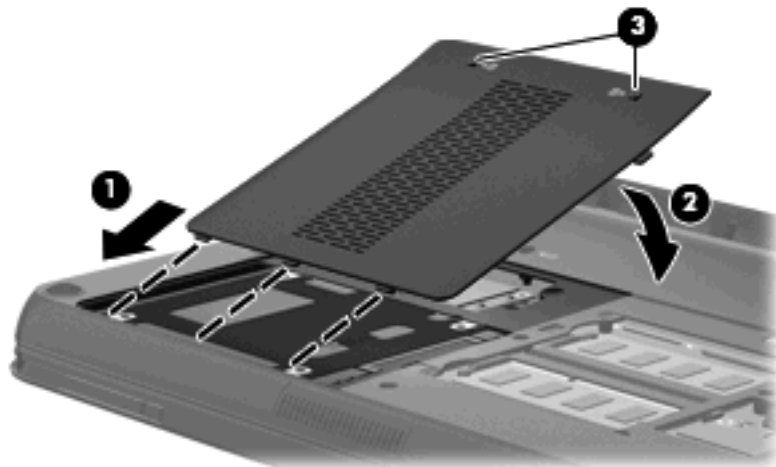
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入します (1)。

2. カチッと音がするまでハードドライブ タブを右方向に引いて (2)、ハードドライブを所定の位置に固定します。

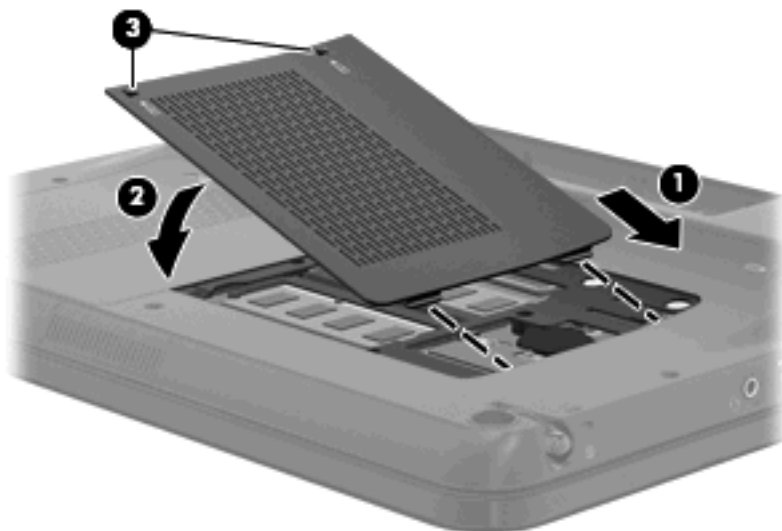


3. 以下の要領で、ハードドライブ カバーを取り付けます。
- a. ハードドライブ カバーのタブ (1) を、コンピューターのくぼみに合わせます。
 - b. メモリ モジュール コンパートメント カバーを閉じます (2)。
 - c. ハードドライブ カバーのネジ (3) を締めます。



4. 以下の要領で、メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り付けます。
- a. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
 - b. メモリ モジュール コンパートメント カバーを閉じます (2)。

- c. メモリ モジュール コンパートメントの2つのネジ (3) を締めます。



5. バッテリーを取り付けなおします。
6. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
7. コンピューターの電源を入れます。


外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- LightScribe スーパーマルチ DVD±RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）

別売の外付けドライブの接続

 **注記：** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。


△ **注意：** 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 外部電力を使用するドライブを接続する場合は、そのデバイスの電源コードをアース付き電源コンセントに差し込みます。
3. ドライブの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターから取り外します。別電源が必要な外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

外付けオプティカルドライブの使用（一部のモデルのみ）

コンピューターのモデルによっては、外付けオプティカルドライブが搭載されています。外付けオプティカルドライブをコンピューターの USB コネクタに接続して、データディスクを読み取ったり、音楽や動画を再生したりできます。外付けオプティカルドライブがブルーレイディスク（BD）ドライブの場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。

 **注記：** 外付けオプティカルドライブは、ハブやドッキングステーションなど他の外付けデバイスの USB コネクタではなく、**コンピューター本体の USB コネクタ**に接続する必要があります。


以下のどちらかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- LightScribe スーパーマルチ DVD±RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ（2 層記録（DL）対応）

ディスクトレイが開かない場合の光学ディスクの取り出し

ディスクトレイが開かない場合は、以下の操作を行います。

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ (1) の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します (2)。
3. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します (3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。


 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

オプティカルドライブの共有

お使いのコンピューターにオプティカルドライブは搭載されていませんが、ネットワーク内の別のコンピューターに接続されているオプティカルドライブを共有することによって、ソフトウェアへのアクセス、アプリケーションのインストール、およびデータへのアクセスを簡単に行えます。ドライブの共有は Windows オペレーティングシステムの機能であり、これによって、あるコンピューター上のドライブに同じネットワーク上の別のコンピューターからアクセスできるようになります。

 **注記：** オプティカルドライブを共有するには、ネットワークがセットアップされている必要があります。ネットワークのセットアップについて詳しくは、[12 ページの「ネットワーク」](#)を参照してください。

注記： DVD ムービーやゲーム ディスクといった種類のディスクはコピーが防止されている場合があります。その場合、DVD または CD を共有して使用することはできません。

オプティカルドライブを共有するには、以下の操作を行います。

1. 共有するオプティカルドライブが搭載されたコンピューターから、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。
2. 共有するオプティカルドライブを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[共有]**タブ→**[詳細な共有]**の順に選択します。
4. **[このフォルダーを共有する]**チェックボックスにチェックを入れます。
5. **[共有名]**テキストボックスにオプティカルドライブの名前を入力します。
6. **[適用]**→**[OK]**の順にクリックします。
7. コンピューター上の共有されているオプティカルドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コントロールパネル]**→**[ネットワークとインターネット]**→**[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。

8 メモリ モジュール

メモリ モジュールの追加または交換

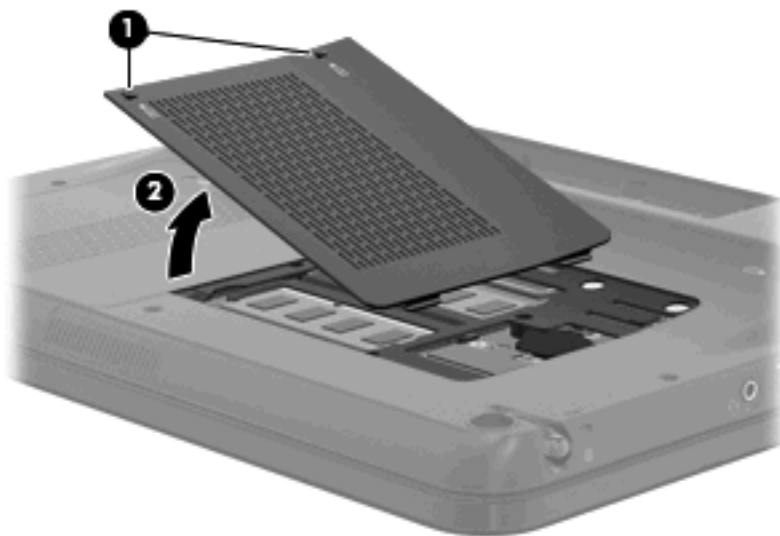
コンピューターの裏面には、2つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メインメモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

- ⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリーを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。
- ⚠ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
- 📖 **注記：** 2つめのメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2つのメモリ モジュールを必ず同じ種類および同じ速度にしてください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

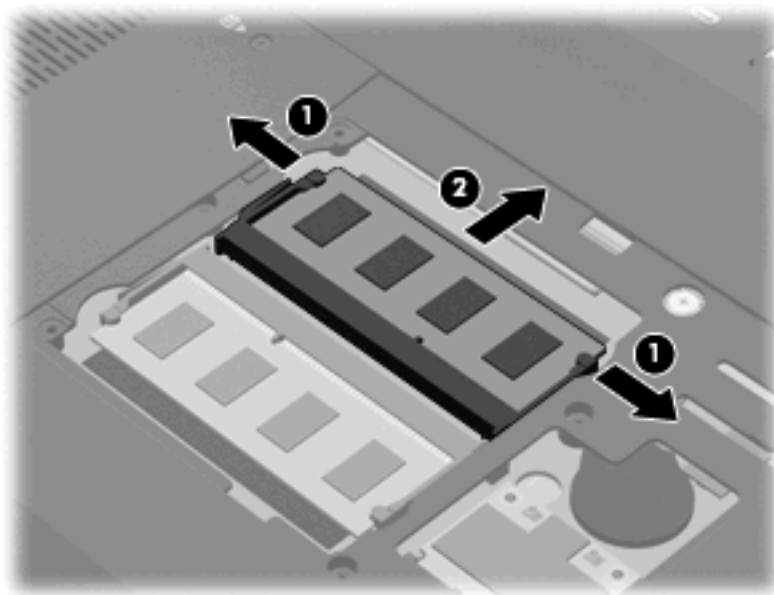
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. メモリ モジュール コンパートメントの2つのネジ（1）を緩めます。
8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り外します（2）。



9. 以下の要領で、メモリ モジュールを交換する場合は、装着されているメモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。
メモリ モジュールが少し上に出てきます。
- b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。



取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

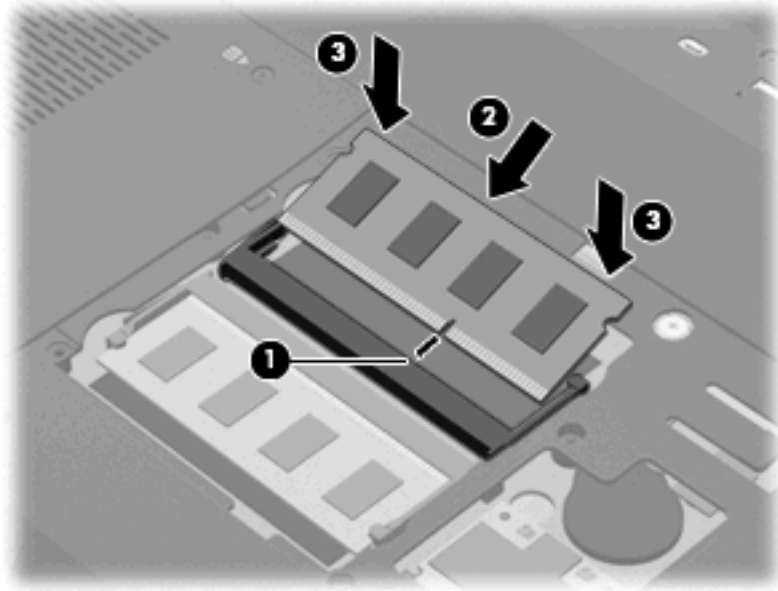
10. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

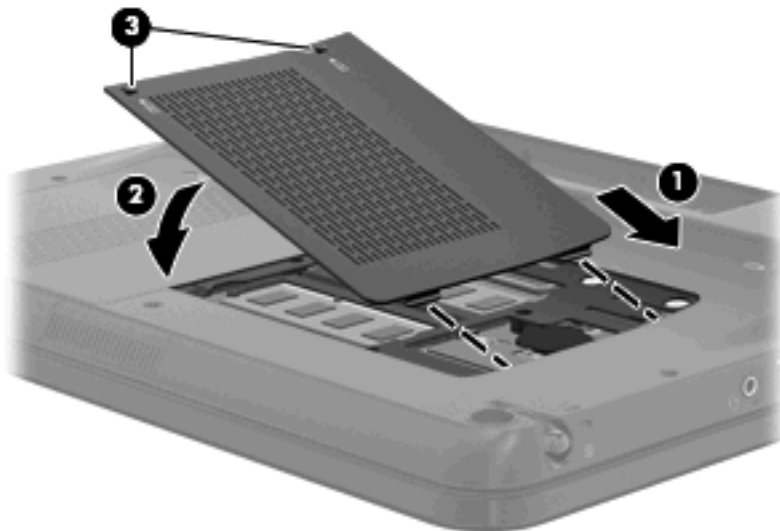
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。
- b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45° の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。

- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端を押し下げます (3)。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを曲げないでください。



11. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのくぼみに合わせます (1)。
12. メモリ モジュール コンパートメント カバーを閉じます (2)。
13. メモリ モジュール コンパートメントの2つのネジ (3) を締めます。



14. バッテリーを取り付けなおします。
15. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
16. コンピューターの電源を入れます。


9 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能で、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

このガイドに記載されている手順を実行して、以下の機能を使用します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 緊急セキュリティ アップデート
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル
- 指紋認証システム（一部のモデルのみ）

 **注記：** セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： コンピューターをサポートあてに送付する場合は、事前にすべてのパスワードと指紋設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	電源投入時パスワードまたは指紋認証システム
コンピューター ウィルス	[Norton Internet Security]ソフトウェア
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">● ファイアウォール ソフトウェア● Windows Update
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を守るために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows および Windows 以外の OS にあらかじめインストールされたセットアップユーティリティで設定できます。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップユーティリティの機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数のセットアップユーティリティ機能に同じパスワードを使用することもできます。

セットアップユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップユーティリティで設定するパスワードは、セットアップユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーンセーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します 注記： このパスワードは、セットアップユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザーパスワード	Windows ユーザーアカウントへのアクセスを保護しますコンピューターのデータへのアクセスも保護します。スリープまたはハイバネーションを終了するときに入力する必要があります

セットアップユーティリティでのパスワードの設定

パスワード

管理者パスワード*

- セットアップユーティリティへのアクセスを保護します
- パスワードの設定後は、セットアップユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります

注意： 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップユーティリティにアクセスできません

電源投入時パスワード*

- コンピューターのデータへのアクセスを保護します
- パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります

注意： 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります

注記： 管理者パスワードは、電源投入時パスワードの代わりに使用できません

*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

管理者パスワード

管理者パスワードは、セットアップユーティリティ内の設定値とシステム識別情報を保護します。パスワードの設定後は、セットアップユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

その管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、安全な場所に保管してください。

[Press the ESC key for Startup]というメッセージが表示される前の最初のパスワード確認のときに管理者パスワードを入力した場合は、セットアップユーティリティにアクセスするときに管理者パスワードを再入力する必要はありません。

[Press the ESC key for Startup]というメッセージが表示される前の最初のパスワード確認のときに電源投入時パスワードを入力した場合は、セットアップユーティリティにアクセスするときに管理者パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップメニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して**[Security]** (セキュリティ設定) → **[Set Administrator Password]** (管理者パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]** (新しいパスワードの入力) および**[Confirm New Password]** (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]** (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]** および**[Confirm New Password]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]** (パスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

管理者パスワードの入力

[Enter Password] (パスワードの入力) 画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して **enter** キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップメニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して**[Security]** (セキュリティ設定) → **[Set Power-On Password]** (電源投入時パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを設定するには、**[Enter New Password]** (新しいパスワードの入力) および**[Confirm New Password]** (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更するには**[Enter Current Password]** (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]** および**[Confirm New Password]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Enter Current Password]** フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[Enter Password] (パスワードの入力) 画面が表示されたらパスワードを入力して **enter** キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。


お使いのコンピューターには、ウイルス対策プログラムの[Norton Internet Security]があらかじめインストールされています。ソフトウェアには 60 日間の無料更新サービスが含まれています。延長更新サービスを購入し、60 日以後も新しいウイルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。[Norton Internet Security]を表示しアクセスするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]**の順に選択します。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したリインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

-  **注記：** 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。


緊急セキュリティ アップデートのインストール

△ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

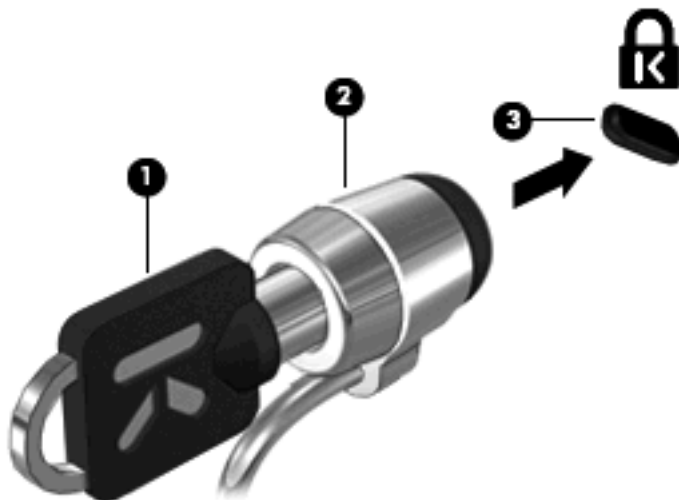
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順に選択すると表示されるアップデート リンクを使用します。
- [Windows Update]は毎月実行してください。
- Window およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続

 **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵をかけます。



4. 鍵を抜いて安全な場所に保管します。

指紋認証システムの使用（一部のモデルのみ）


指紋認証システムは、ディスプレイの右側にある小さい金属製センサーです。

指紋の登録

指紋認証システムでは、Windows のパスワードの代わりに[DigitalPersona Personal]ソフトウェアで登録しておいた指紋を使用して、Windows にログオンできます。


1 つ以上の指紋を登録するには、以下の操作を行います。

1. Windows で、タスクバーの右端の通知領域にある[DigitalPersona Personal]アイコンをクリックします。
2. 起動時のテキストが表示されたら確認し、[Next]（次へ）をクリックします。
[Verify Your Identity]（ユーザー情報の認証）ページが開きます。
3. Windows のパスワード（設定されている場合）を入力してから、[Next]をクリックします。

 **注記：** Windows パスワードを設定していない場合、[Protect Your Windows Account]（Windows アカウントの保護）ページが開きます。ここで Windows パスワードを作成することも、[Next] をクリックしてこの手順をスキップすることもできます。ただし、Windows のパスワードを設定しておくことで、お使いのコンピューターのセキュリティ機能を最大限に活用することが可能になります。

[Fingerprint Registration Training]（指紋の登録の練習）ページが開きます。

4. デモ画面が表示されたら、[Next]をクリックします。
[Register a Fingerprint]（指紋の登録）ページが開きます。
5. 登録する指に対応する画面上の指をクリックします。
次のページが表示されて、クリックした指の輪郭が緑色になります。
6. 選択した指を指紋センサーに押し当てて、ゆっくりと滑らせます。

 **注記：** 押し当てが正しく完了しないと、押し当てが成功しなかった理由を説明するメッセージが表示されます。

注記： 良好な結果を得るため、指紋認証システムを使用するたびに同じ指を同じ方向に滑らせてください。

7. 押し当てに 4 回成功するまで、同じ指の押し当てを繰り返します。

指紋が正しく登録されると、[Register a Fingerprint]ページが再度開き、さらに指紋を登録できるようになります。指紋を追加で登録するには、手順 5 ～手順 7 の操作を繰り返します。


8. 指紋の登録を終了する場合は、[Next]をクリックします。

1 本の指の指紋のみを登録している場合は、指紋の追加登録を推奨するメッセージが表示されます。さらに指紋を登録する場合は、[Yes]（はい）をクリックし、手順 1 から 8 を登録する指紋ごとに繰り返します。

または

指紋を登録しない場合は、[No]（いいえ）をクリックします。[Registration Complete]（指紋の登録完了）ページが開きます。

9. [Finish]（完了）をクリックします。

 **注記：** 個々のユーザーが指紋認証を使用してコンピューターにアクセスする場合は、ユーザーごとに手順 1～9 の操作を繰り返す必要があります。

登録された指紋を使用した Windows へのログオン

登録した指紋を使用して Windows にログオンするには、以下の操作を行います。


1. 指紋を登録したらすぐに Windows を再起動します。
2. 登録した指のどれかを使用して Windows にログオンします。

10 バックアップおよび復元

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャ) ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。


- リカバリ ディスクを作成します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、リカバリ ディスクを使用して、お使いのコンピューターを起動 (ブート) し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバック アップします。
- システムの復元ポイントを作成します (オペレーティング システムの機能)。システムの復元ポイントを使用すると、以前の状態までコンピューターを復元することで、コンピューターへの望ましくない変更を元に戻すことができます。
- プログラムまたはドライバーを復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバーを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。[Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) またはユーザーが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**をクリックし、**[コンピューター]**を右クリックして**[管理]**→**[ディスクの管理]**の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウに HP リカバリ ドライブが表示されます。

リカバリ ディスクの作成


システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。

 **注記：** お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカルドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、またはHPのWebサイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質なDVD-R、DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ ディスク）、またはCD-R ディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVD および BD には、CD よりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CD を使用すると最大 20 枚のディスクが必要になる場合でも、DVD または BD では数枚のみで済みます。

 **注記：** [HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）ソフトウェアは、CD-RW、DVD ±RW、2 層記録 DVD ±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。
- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。


リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャ）→[Recovery Disc Creation]（リカバリ ディスク作成）**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

情報のバックアップ

新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻


 **注記：** 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。


- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくで時間を節約できます。

画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

1. 画面を表示します。
 2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。
アクティブなウィンドウのみをコピーするには、**alt + prt sc** キーを押します。
画面全体をコピーするには、**prt sc** キーを押します。
 3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[編集]→[貼り付け]の順に選択します。
 4. 文書を保存します。
- 情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
 - ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。
-  **注記：** DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。
- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。


Windows の[バックアップと復元]の使用

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。


注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には1時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

 **注記：** Windowsには、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windowsの設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの使用


システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。後でシステムに対する変更を破棄する場合、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

 **注記：** 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

 **注記：** 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [保護設定]の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. [作成]をクリックします。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。


以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。


1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。

4. **[システムの復元]**をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元の実行

-  **注記：** ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャ) を使用してリカバリ ディスクのセット (ドライブ全体のバックアップ) を作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) から実行できます。ただし、お使いのコンピューターに SSD (Solid State Drive) が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。その場合、コンピューターにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

-  **注記：** Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。


注記： [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクを別売の外付けオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

専用の復元用パーティションからの復元 (一部のモデルのみ)

-  **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。コンピューターに復元用パーティションがない場合は、以下の手順による復元はできません。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、**f11** キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピューターが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）にアクセスします。
 - [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]→[Recovery Manager]の順に選択します。
または
 - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。次に、[Press <F11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、**f11** キーを押します。
2. [Recovery Manager]ウィンドウの[System Recovery]（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

11 セットアップユーティリティ (BIOS)

セットアップユーティリティの開始

セットアップユーティリティはROMベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windowsオペレーティングシステムが動作しない場合にも使用できます。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10**キーを押します。

または

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc**キーを押します。
2. [Startup Menu]（スタートアップメニュー）が表示されたら **f10** キーを押します。

セットアップユーティリティの使用

セットアップユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップメニュー）が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して[System Configuration]（システムコンフィギュレーション）→[Language]（言語）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、**enter** キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、**enter** キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit]（終了）→[Exit Saving Changes]（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップユーティリティでの移動および選択

セットアップユーティリティはWindowsベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、**f5** キーまたは **f6** キーを使用します。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
- テキストボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、**esc** キーを押します。
- セットアップユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、**f1** キーを押します。

システム情報の表示

以下の手順では、セットアップユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップメニュー）が表示されたら **f10** キーを押します。
2. **[Main]**（メイン）メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピューターの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティでの初期設定の復元


以下の手順では、セットアップユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu]（スタートアップメニュー）が表示されたら **f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して **[Exit]**（終了）→**[Load Setup Defaults]**（初期設定値をロードする）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、**enter** キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

 **注記：** 出荷時設定に戻しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。


- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

セットアップユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップユーティリティのオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されているセットアップユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピュータでは使用できない場合があります。

[Main] (メイン) メニュー

選択	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">システム時刻および日付を表示したり変更したりしますコンピュータの識別情報を表示しますプロセッサ情報、メモリ サイズ、システム BIOS などの仕様情報を表示します

[Security] (セキュリティ) メニュー

選択	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration] (システムコンフィギュレーション) メニュー

選択	設定内容
Language (言語)	セットアップユーティリティの言語を変更します
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) (一部のモデルのみ)	仮想化テクノロジーを有効/無効にします
LAN Power Saving (LAN 省電力)	LAN 省電力を有効または無効にします。LAN コントローラーの電力消費を抑えます
Fan Always On (ファンを常にオン)	ファンを常にオンにしておくかどうかを切り替えます。有効の場合、コンピュータのファンが常にオンになります
Action Key Mode (操作キー モード)	操作キーを有効/無効にします
Boot Options (ブート オプション)	以下のブート オプションを設定します <ul style="list-style-type: none">POST Hot Key Delay (sec.) (POST ホットキーの遅延 (秒)) : ユーザーがホットキーを押すときの遅延 (キー入力を待つ時間) を、5 秒間隔 (0、5、10、15、20) で設定しますFloppy Boot (フロッピーディスク ドライブからのブート) : フロッピーディスクからのブートを有効/無効にします

選択	設定内容
	<ul style="list-style-type: none"> ● Internal Network Adapter Boot (内蔵ネットワーク アダプター ブート) : 外付けネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします ● Boot Order (ブート順序) : 以下のブート順序を設定します <ul style="list-style-type: none"> ○ コンピューター本体のハードドライブ ○ USB メモリ上のドライブ/USB ハードドライブ ○ USB CD/DVD ROM ドライブ ○ USB フロッピー ○ ネットワーク アダプター

[Diagnostics] (診断) メニュー

選択	設定内容
Primary Hard Disk Self Test (プライマリ ハードドライブの自己診断)	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test (メモリ テスト)	システム メモリの診断テストを実行します

BIOS の更新

HP の Web サイトから、BIOS の更新されたバージョンを入手できます。

HP の Web サイトには、多くの BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報 (ROM の日付またはシステム BIOS と呼ばれます) を表示するには、**fn + esc** キーを押す (Windows を起動している場合) か、セットアップ ユーティリティを使用します。

セットアップ ユーティリティを使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して[Main] (メイン) メニューを選択します。

[Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。

3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit] (終了) →[Exit Discarding Changes] (変更を取り消して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意:** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。


BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

Web サイトにアクセスするには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]→[管理]**の順に選択します。

2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートを表示します。
3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。

- a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
- b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。


 **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コンピューター]**の順に選択して、Windows の**[エクスプローラー]**を起動します。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、**[ローカル ディスク (C:)]**を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が .exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。

BIOS のインストールが開始されます。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

A 製品情報


入力電源

ここで説明する電源の情報は、お使いのコンピューターを国外で使用する場合に役立ちます。

コンピューターは、AC 電源または DC 電源から供給される DC 電力で動作します。コンピューターは単独の DC 電源で動作しますが、コンピューターの電力供給には、このコンピューター用に HP から提供および認可されている AC アダプターまたは DC 電源のみを使用する必要があります。

お使いのコンピューターは、以下の仕様の DC 電力で動作できます。

入力電源	定格
動作電圧	18.5 V DC (3.5 A、65 W の場合)
動作電流	3.5 A

 **注記：** この製品は、最低充電量 240 V_{rm} 以下の相対電圧によるノルウェーの IT 電源システム用に設計されています。

注記： コンピューターの動作電圧と動作電流は、コンピューターの裏面に貼付されているシステムの規定ラベルに記載されています。

動作環境

項目	メートル	U.S.
温度		
動作時（オプティカル ディスク書き込み中）	5 ~ 35°C	41 ~ 95° F
非動作時	-20 ~ 60°C	-4 ~ 140° F
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	10 ~ 90%	10 ~ 90%
非動作時	5 ~ 95%	5 ~ 95%
最大標高（非与圧）		
動作時	-15 ~ 3,048 m	-50 ~ 10,000 フィート
非動作時	-15 ~ 12,192 m	-50 ~ 40,000 フィート

コンピューターの持ち運び

最適な状態で使用するには、持ち運びおよび送付に関する以下の情報をお読みください。

- お使いのコンピューターを持ち運んだり荷物として送ったりする場合は、以下の手順で準備を行います。
 - 情報をバックアップします。
 - すべてのディスクおよび外付けメディアカード（デジタルカードなど）を取り外します。
- △ **注意：** コンピューターやドライブの破損、または情報の損失を防ぐため、ドライブをドライブベイから取り外す前およびドライブを運搬、保管、または移動する前に、ドライブからメディアを取り出してください。
- すべての外付けデバイスを、電源を切ってから取り外します。
- コンピューターをシャットダウンします。
- 情報のバックアップを携帯します。バックアップはコンピューターとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合などは、コンピューターを手荷物として持ち運び、他の荷物と一緒に預けないでください。
- △ **注意：** ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルトコンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。
- 機内でのコンピューターの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。機内でコンピューターを使用する場合は、事前に航空会社に確認してください。
- コンピューターを 2 週間以上使用せず、外部電源から切断する場合、バッテリーを取り外し、別途保管してください。
- コンピューターまたはドライブを荷物として送る場合は、緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。
- コンピューターに無線デバイスまたは携帯電話デバイス（802.11b/g デバイス、Global System for Mobile Communications（GSM）デバイス、General Packet Radio Service（GPRS）デバイスなど）がインストールされている場合、これらのデバイスの使用は制限されることがあります。たとえば、航空機内、病院内、爆発物付近、および危険区域内です。特定の機器の使用に適用される規定が不明な場合は、電源を入れる前に使用許可を求めてください。
- コンピューターを持って国外に移動する場合は、以下のことを行ってください。
 - 行き先の国または地域のコンピューターに関する通関手続きを確認してください。
 - 滞在する国または地域に適応した電源コードを、滞在する国または地域の HP 製品販売店で購入してください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。
- △ **警告！** 感電、火災、および装置の損傷などを防ぐため、コンピューターを外部電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバーターは使用しないでください。

コンピューターの手入れ

ディスプレイの清掃

- △ **注意：** コンピューターの破損を防ぐため、ディスプレイには絶対に水、液体クリーナー、化学薬品をかけないでください。

汚れやごみを除去するには、柔らかく湿り気のある、毛羽立たない布でディスプレイを定期的に清掃してください。汚れが落ちにくい場合は、軽く湿らせた静電気防止の拭き取り用の布や静電気防止の画面用クリーナーを使用します。

タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

- △ **警告！** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するときに必要な情報や、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する固有の情報を提示する番号です。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。
- (4) モデルの記載：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに使用する英数字 ID です。
- (5) 保証期間：コンピューターの標準保証期間が記載されています。

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせをするときに必要です。サービス タグ ラベルは、バッテリー ベイの内側に貼付されています。

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー (Product Key、Product ID) が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Microsoft Certificate of Authenticity ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) デバイスや Bluetooth® デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- SIM ラベル (一部のモデルのみ)：SIM の ICCID (Integrated Circuit Card Identifier) が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル (一部のモデルのみ)：HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイの中に貼付されています。

索引

A

Action Key Mode (操作キー モード) 111
AC アダプター
テスト 65

B

BD ドライブ 80
Bluetooth
デバイス 15
ラベル 120
Bluetooth 無線デバイス 23
Boot Options (ブート オプション) 111

C

Caps Lock ランプ、位置 4
CD
ドライブ 80
Certificate of Authenticity ラベル 120

D

[Diagnostics] (診断) メニュー 112
DVD
ドライブ 80

E

end ホットキー 39
esc キー、位置 5

F

f11 104, 105
Fan Always On (ファンを常にオン) 111
fn キー
位置 5, 39

H

HDMI
コネクタ、位置 8, 49
接続 49
設定 50
HD 対応デバイス、接続 49
home ホットキー 39
[HP MediaSmart]ソフトウェア 43
HP ProtectSmart Hard Drive Protection 74
HP Recovery Manager 99, 104
HP TouchSmart
起動 43
使用 43
[HP TouchSmart]ソフトウェア 43
HP USB Ethernet (イーサネット) アダプター
接続 25
[HP Wireless Assistant]ソフトウェア 15, 16
HP バッテリ チェック 57
HP モバイル ブロードバンド モジュール 21

I

Internet Service & Offers 13

L

LAN 省電力 111

M

[Main] (メイン) メニュー 111
Memory Test (メモリ テスト) 112
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 120

P

page down ホットキー 39
page up ホットキー 39
Power-On Password (電源投入時パスワード)
管理 92
作成 92
入力 92
Primary Hard Disk Self Test (プライマリ ハードドライブの自己診断) 112

R

RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 10

S

[Security] (セキュリティ) メニュー 111
SIM
装着 21
取り出し 22
SSD (Solid State Drive) 99, 104
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー 111

U

USB ケーブル、接続 69
USB コネクタ
位置 7, 8
確認 69
USB デバイス
接続 69
説明 69
取り出し 69
USB ハブ 69

- V**
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) 111
- W**
Web カメラ
位置 9
プロパティの調整 48
Web カメラ ランプ、位置 9
Windows アプリケーション キー、位置 5
Windows のインターネットへの接続ウィザード 14
Windows、パスワードの設定 89
Windows ロゴ キー、位置 5
- あ**
アイコン
ネットワーク 15
無線 15
暗号化 20
- い**
インターネット
ISP の選択 13
インターネット サービス プロバイダー (ISP) 13
インターネット接続のセットアップ 18
インターネットへの接続ウィザード 13, 14
- う**
ウイルス対策ソフトウェア、使用 93
- お**
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ
位置 8
オーディオ デバイス、外部接続 45
オーディオ入力 (マイク) コネクタ
位置 8
オプティカル ドライブ
共有 44, 82
外付け 44, 80
- オペレーティング システム
Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 120
プロダクト キー 120
温度 61
音量キー、位置 38
音量
キー 45
調整 45
ミュート (消音) 45
- か**
回転タッチ スクリーン ジェスチャ 35
回転タッチパッド ジェスチャ 29
回転ヒンジ、位置 9
回転ボタン、位置 6
回転ボタン、使用 33
外部電源、接続 64
書き込み可能メディア 53
各部
前面 5
ディスプレイ 9
背面 10
左側面 8
表面 3
右側面 6
裏面 10
画面の輝度のキー 37
画面表示、切り替え 37
画面方向、位置 33
完全なロー バッテリー状態 53, 60
管理者パスワード
管理 91
作成 91
入力 91
- き**
キー
esc 5
fn 5
Windows アプリケーション 5
Windows ロゴ 5
操作 5
ミュート (消音) 45
キーボード
清掃 119
キーボード ホットキー、位置と名称 39
- 規定情報
規定ラベル 120
無線認定/認証ラベル 120
共有ドライブ 82
切り替え可能なグラフィックス 63
緊急セキュリティ アップデート、インストール 95
- く**
空港のセキュリティ装置 72
グラフィックス モード、切り替え 63
クリック
設定の変更 36
テスト 36
- け**
ケーブル
USB 69
言語 111
- こ**
コネクタ
HDMI 8, 49
RJ-45 (ネットワーク) 10
USB 7, 8
オーディオ出力 (ヘッドフォン) 8
オーディオ入力 (マイク) 8
外付けモニター 10, 49
電源 7
コンピューター
電源切断 52
コンピューターの手入れ 119
コンピューターの持ち運び 61, 118, 120
コンピューター、持ち運び 118
- さ**
サービス タグ 120
サポートされるディスク 100
- し**
システム情報
表示 109, 111
ホットキー 39
システム全体の復元 99
システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合 99

システムの応答停止 52
システムの復元 104
システム復元ポイント 99, 102
指紋、登録 97
指紋認証システム
位置 6
使用 97
シャットダウン 52
使用、システムの復元ポイン
ト 102
初期設定、復元 109
シリアル番号、コンピュー
ター 120

す

スイッチ、電源 6
ズーム スクリーン ジェス
チャ 35
スクロール タッチ スクリーン ジェ
スチャ 34
スクロール タッチパッド ジェス
チャ 28
スピーカー
位置 9
スリープ
開始 53
終了 53
スロット
セキュリティ ロック ケーブ
ル 10
メディアカード 7
メモリ 83
ズーム タッチパッド ジェス
チャ 29

せ

清掃、タッチパッドとキーボー
ド 119
製品名および製品番号、コンピュー
ター 120
セキュリティ、無線 20
セキュリティ ロック ケーブル、接
続 96
セキュリティ ロック ケーブル用ス
ロット
位置 10
接続
外部電源 64
設定、HDMI 50

セットアップ ユーティリティ
移動 108
起動 107
言語の変更 108
システム情報の表示 109
終了 110
初期設定の復元 109
設定するパスワード 90
選択 108
メニュー 111
節約、電力 54
専用の復元用パーティションからの
復元 104

そ

操作キー
位置 5
オーディオ CD、DVD、または
BD の調整 37
音量の調節 38
音量 45
画面の輝度を上げる 37
画面の輝度を下げる 37
画面を切り替える 37
使用 37
スピーカーの音を消す 38
ヘルプとサポート 37
無線 16, 38
外付けオーディオ デバイス、接
続 45
外付けオプティカル ドライブ 44
外付けドライブ 80
外付け無線 WAN アンテナ、位
置 6
外付けモニター コネクタ 10, 49
ソフトウェア
HP MediaSmart 43
HP TouchSmart 43
HP Wireless Assistant 16
使用 43
ディスク クリーンアップ 73
ディスク デフラグ 73

た

タッチ スクリーン ジェスチャ
回転 35
ズーム 35
スクロール 34
タップ 33
ドラッグ 34

ピンチ 35
フリック 34
タッチ スクリーン
画面動作の実行 33
使用 32
設定 36
タッチパッド ジェスチャ
回転 29
スクロール 28
タッチパッド
位置 3
使用 27
清掃 119
操作 27
ボタン 3
タップ タッチ スクリーン ジェス
チャ 33
タッチパッド オフ インジケー
ター 3
タッチパッド オフ インジケー
ター、確認 4
タッチパッド ジェスチャ
ズーム 29
ピンチ 29

つ

通気孔、位置 5, 8, 11

て

ディスク クリーンアップ ソフトウエ
ア 73
ディスク デフラグ ソフトウエ
ア 73
ディスプレイ
回転 32
清掃 119
電源コネクタ、位置 7
電源スイッチ、位置 6
電源投入時パスワード
管理 92
入力 92
電源ランプ
位置 6
電源
接続 64
節約 54

と

動作環境 117

- ドライブ
 - オプティカル 80
 - 外付けの接続 80
 - 外付け 80
 - 取り扱い 72
 - ハード 76, 77, 80
 - ブート順序 111
 - フロッピーディスク 80
 - ランプ 8, 74
- ドライブメディア 53
- ドラッグ タッチ スクリーン ジェスチャ 34
- な**
- 内蔵 Web カメラ ランプ、位置 9
- 内蔵マイク
 - 位置 9
- に**
- 入力電源 116
- ね**
- ネットワーク アイコン 15
- ネットワーク ケーブル
 - 接続 25
- は**
- ハードドライブ
 - HP ProtectSmart Hard Drive Protection 74
 - 外付け 80
 - 取り出し 76
 - 取り付け 77
- ハードドライブ ベイ、位置 11
- ハイバネーション
 - 開始 53
 - 完全なロー バッテリー状態での開始 60
 - 終了 53
- パスワード
 - Windows での設定 89
 - 管理者 90
 - セットアップ ユーティリティでの設定 90
 - 電源投入時 91
- バックアップ
 - カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、およびメニューバーの設定 101
- 個人用ファイル 101
- テンプレート 101
- バッテリー ゲージの調整 61
- バッテリー電源 57
- バッテリー
 - 温度 61
 - 充電 59
 - 処理 62
 - 節電 54
 - 装着 58
 - 調整 61
 - 取り付けなおし 62
 - 取り外し 58
 - 放電 60
 - 保管 61
 - ロー バッテリー状態 60
- バッテリー ベイ
 - 位置 11
- バッテリー ランプ 7, 59
- バッテリー リリース ラッチ 10, 58
- ハブ 69
- ひ**
- 表示画面、切り替え 37
- ヒンジ、位置 9
- ピンチ タッチ スクリーン ジェスチャ 35
- ピンチ タッチパッド ジェスチャ 29
- ふ**
- ファイアウォール ソフトウェア 20, 94
- ブート順序 111
- 復元ポイント 102
- 復元用パーティション 99
- 復元
 - システム 104
- フリック タッチ スクリーン ジェスチャ 34
- フリック
 - 割り当ての作成 36
 - 割り当ての変更 36
- プログラム、使用 43
- プログラムまたはドライバーの復元 99
- プロジェクター、接続 49
- プロダクト キー 120
- フロッピーディスク ドライブ 80
- へ**
- ヘッドフォン（オーディオ出力）コネクタ 8
- ヘルプとサポート キー 37
- ペンのケーブル穴、位置 8
- ペンのケーブル取り付け穴 31
- ペン
 - 位置 31
 - 使用 31
 - 保管 31
- ペンホルダー 8, 31
- ほ**
- ポインティング デバイス
 - カスタマイズ 27
- ポート
 - USB 69
- 保管、バッテリー 61
- ボタン
 - 回転 6
 - 左のタッチパッド 3
 - 右のタッチパッド 3
 - 無線 7, 16
- ホットキー
 - end 39
 - home 39
 - page down 39
 - page up 39
 - システム情報の表示 39
 - 使用 39
 - 説明 39
- ま**
- マイク（オーディオ入力）コネクタ、位置 8
- マウス、外付け
 - オプションの設定 27
- マルチメディア ソフトウェア
 - インストール 44
 - 使用 43
- み**
- ミュート（消音）キー
 - 位置 38
 - 使用 45
- ミュート（消音）ランプ、位置 4
- む**
- 無線 LAN アンテナ、位置 9
- 無線 LAN デバイス 120

無線 LAN のセットアップ 18
無線 LAN ラベル 120
無線 WAN アンテナ、位置 9
無線 WAN デバイス 21
無線アイコン 15
無線アンテナ、位置 9
無線キー
位置 38
使用 15, 16
無線コントロール
[HP Wireless Assistant]ソフト
ウェア 15
オペレーティング システ
ム 15
キー 15
無線認定/認証ラベル 120
無線ネットワーク (無線 LAN)
セキュリティ 20
必要な機器 18
無線ボタン
位置 7
使用 16
無線ランプ 4, 7, 15
無線
セットアップ 18
保護 20

め

メディア カード
サポートする形式 67
装着 67
取り出し 68
メディア コントロール、キー 37
メディア スロット、位置 7
メディア操作キー 42
メモリ モジュール コンパートメン
ト、位置 11
メモリ モジュール コンパートメン
ト カバー
取り出し 84
取り付けなおし 86
メモリ モジュール
装着 85
取り出し 85
メンテナンス
ディスク クリーンアップ 73
ディスク デフラグ 73

も

モニター、接続 49

よ

読み取り可能メディア 53

ら

ラッチ、バッテリー リリース 10
ラベル
Bluetooth 120
Microsoft Certificate of
Authenticity 120
規定 120
サービス タグ 120
無線 LAN 120
無線認定/認証 120
ランプ
Caps Lock 4
Web カメラ 9
電源 6
ドライブ 8, 74
バッテリー 7
ミュート (消音) 4
無線 4, 7

り

リカバリ ディスクからの復
元 104
リカバリ ディスク 99, 100

ろ

ローカル エリア ネットワーク
(LAN)
ケーブルの接続 25
必要なケーブル 25
ロー バッテリー状態 60

